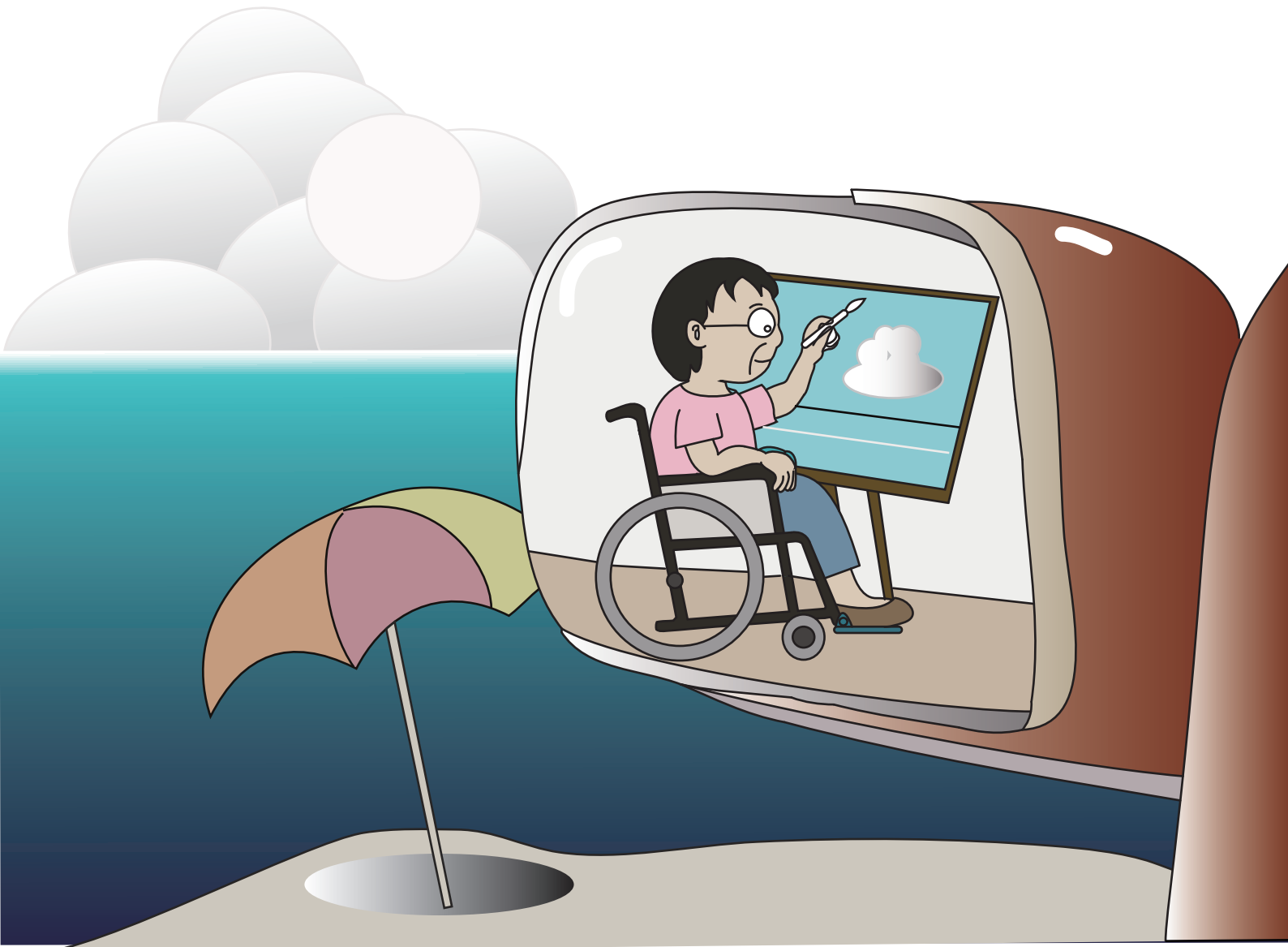


# かくどけい

KAKUDOKEI 2013

110号



公益社団法人  
熊本県理学療法士協会  
Kumamoto Physical Therapy Association

広報誌「かくどけい」  
平成 25 年 7 月 29 日 発刊



- 001 巻頭言 「 理学療法の日 」 坂崎浩一
- 002 理事会報告
- 013 各部・委員会報告  
福祉部  
表彰審査委員会  
渉外部  
宣伝部  
保険部  
生涯学習部  
学術部  
教育部  
厚生部  
事業部
- 021 学会・研修会のお知らせ 「内部障害の理学療法の進め方の基本」
- 022 大観望 「これまでの IT 事業部とホームページへの思い出」 岩下佳弘  
「患者と話をすること」 今屋将美
- 023 事務局だより
- 024 学術事業部文献紹介
- 025 学会・研修会印象記
- 026 第1回新人研修会印象記
- 028 くまもと北から南から
- 030 他士会便り「自立した個人として対話しよう」 広島県 No. 226
- 031 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 032 医療・介護お役立ち情報
- 033 よろず運動療法相談所 ～糖尿病小委員会～ 「バランスボールを使った運動について」
- 034 学会・研修会のお知らせ 「ベッドサイド・リハ ～廃用予防を中心に～」  
編集後記
- 035 事業予定表

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (公社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp

## 『 理学療法の日 』

公益社団法人 熊本県理学療法士協会  
専務理事 坂崎浩一  
(熊本総合医療リハビリテーション学院)

酷暑の毎日、天気予報では熱中症への注意対策を呼びかけるメッセージが必ず流れますが、夏本番はこれからと言ったところ。患者様や利用者様の体調管理には十分に気を配ることは言うまでもありませんが、「ひとの健康と暮らし」を支える理学療法士の一人としては、自らの健康にも気を遣う事も仕事の一部かと思っています。

さて、理学療法士会員向け広報誌として、昭和 59 年に創刊された本誌『かくどけい』ですが、掲載内容も拡大し、Web 掲載で一般の方も含め多くの方々にご覧頂くようになりました。大変有り難く嬉しく思っております。理学療法士の知名度向上にも少なからず貢献できているものと感じています。

ご存じかとは思いますが、理学療法士は国家資格であり、病気やケガの発症直後から、その人がもとの生活に戻るまで、幅広い場面で身体の状態や時期に応じた理学療法を提供します。重症の患者様が 24 時間体制で治療を受けている時期を急性期、病気やケガの状態が安定し機能回復や能力改善を目的に理学療法が積極的に行える時期を回復期と言います。また、自宅や施設などでその人らしい生活を実現させるためのサポートを行う生活期と言い、それぞれの場面で理学療法士は活躍しています。活躍の場は医療機関のみならず、施設や地域での介護予防、障害をもたれた子供さんの支援やスポーツ選手への関わりまで多岐にわたります。

現在、熊本県内には 2000 名以上の理学療法士がおり、病院や施設等に勤務しています。私たち専門職が集まり、熊本県民の医療保健福祉の向上に寄与することを目的に熊本県理学療法士協会が組織され、趣旨に賛同した理学療法士 2037 名が会員として活動しています。会員としての活動は、日頃の病院や施設での業務とは別枠で、一般の方々の健康増進に関する講座の開催や情報発信、専門職向けの研修会の企画など幅広い内容です。大変有り難いことに、いつも多くの方々に参加頂いています。その活動は理学療法士会内にとどまらず、医師会や看護協会などの関連他団体とも共同で展開されるものもあります。来たる 11 月には作業療法士会と合同での学会を企画しております。

また、日本理学療法士協会が設立された 7 月 17 日を「理学療法の日」と定め、その前後に理学療法と理学療法士を広く知って頂くためのイベントを全国的に行っています。熊本では 7 月 28 日に「健康ランニング」をテーマにした健康講座を企画し開催致します。当会にとってもこの夏一番のビッグイベントですので、今年も多数参加頂けるのではないかと期待しているところです。

私ども理学療法士は、病院や施設を利用されている方々には、その仕事の内容を随分とご理解頂いているかと思えます。しかしながら、多くの県民の方々にとっては、まだまだ縁遠い存在かも知れません。熊本県理学療法士協会といたしましても『ひとの健康と暮らしを支援する身近な理学療法士』の団体として、更なる情報発信を進めると共に、広く県民の皆様のお声に耳を傾けながら努力していきたいと思うところでございます。



# 理事会報告

## 平成25年度第1回拡大理事会議事録 (要約版)

日時：平成25年4月10日(水)19:00~20:20

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

＜理事＞北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・  
佐藤・三宮・田島・増田・光本

＜監事＞寺川

＜部長・委員長＞山本(総務部)・福島(庶務部)・藤原  
(厚生部)・岸本(調査資料部)・河島(保険部)・坂田(広  
報部)・草野(宣伝部)・岩下(IT事業部)・今屋(学術  
部)・前田(教育部)・岩田(学術事業部)・當利(生涯学  
習部)・西(福祉部)・保田(事業部)・山下(表彰審査委  
員会)・大籠(法人事業審議委員会)・奥村(選挙管理委  
員会)・溝上(糖尿病小委員会)・市原(小児領域小委員  
会)・西村(スポーツ領域小委員会)

＜ブロック長・地区長＞樽山(熊本市ブロック菊阿地  
区)・富田(熊本市ブロック西地区)・興呂木(熊本市ブ  
ロック中央地区)・竹内(熊本市ブロック東地区)・尾  
崎(熊本市ブロック南地区)・塚本(熊本市ブロック北  
地区)・浦上(県北ブロック)・塚島(八代ブロック)・水  
田(天草ブロック)・藤井(県南ブロック)

＜事務局員＞坂本

＜事務職員＞石黒・前田・吉永

欠席者：

＜理事＞筒井・野津原・野間

＜監事＞中島

＜相談役＞森重

＜部長・委員長＞久米野(財務部)・前本(呼吸領域小  
委員会)

＜ブロック長・地区長＞

＜書記＞杉谷・濱崎(熊本機能病院)

### 1) 会長挨拶

(会長) 公益社団法人に移行した。公益社団法人の  
公益事業比率は50%が必要。計画、予算にのっと  
った執行が重要。事務局機能強化のため、4月1日  
から常勤3人体制。

来年は組織改編。事業の振り分け、新組織での新計  
画を行わなければならない。

11月23日・24日は熊本県担当で九州PTOT合同学会が  
予定。多くの演題・参加者が必要で協力要請する。  
会員一同が気持ちを一つにして一丸となってすすん  
でいきたい。

### 2) 平成24年度事業報告・決算について【事務局】

(坂崎) 平成25年度第1回総会が5月19日行われる。1  
号議案が、平成25年度事業計画(案)・予算(案)に  
関する件。昨年度の総会で承認されたが手続き上、  
公益社団法人として改めて承認が必要で議案となっ  
た。第2号議案が平成24年度事業報告・決算に関する  
件。総会資料に目的別に報告。決算報告も総会資料  
に目的別に記載。平成24年度は公益目的事業比率が5  
8.6%。内容は会計事務所を通して確認済み。  
今回の総会から委任状の形式が変わり、はがき1枚に  
議決権がつく。

事務局からの連絡として、支出に関して予算にない  
勘定科目が無いようにしていただきたい。支払伺い  
書と領収書の日付が大きく離れていないこと。部員  
交通費は出席簿の役割もある。

### 3) 平成25年度事業計画、伝達事項

#### 1. 総務部

(山本) 各種報告書の提出はホームページの管理画  
面から速やかな報告をお願いする。公文書は受理か  
ら発行までに10日ほどかかる。新部長・委員長・ブ  
ロック長には新しいパスワードを与える。

#### 2. 庶務部

(福島) 現在、会員数1843名、休会会員173名、賛助  
会員10社である。4月から日本理学療法士協会の届け  
出がWebになったが県協会は紙面である。昨年度より  
日本理学療法士協会の休会継続更新は1年ごとにな  
ったが年度末の時点で更新しない会員が多かったの  
で平成25年度は移行期間となった。

#### 3. 財務部(欠席)

#### 4. 厚生部

(藤原) 新卒者懇親会をホテルニューオータニで6  
月15日土曜日に開催する。

## 5. 調査資料部

(岸本) 11月の九州PTOT合同学会にアンケートを行う。大会長と調子中である。

## 6. 保険部

(河島) 5月30日に医療に関する保険診療研修会。6月25日に介護に関する保険診療研修会を開催予定。問い合わせはメールでお願いしたい。

## 7. 広報部

(坂田) 年6回のかくどけい発行を予定。次年度は部の見直しを行い一般市民向けの内容に大幅変更予定。内容は次回拡大理事会で報告する。

## 8. 宣伝部

(草野) 今年度も『PTあ!(ピタ)』っと健康講座、健康フェスティバル、新卒者の入会案内に参加予定。引き続きユニホームの貸し出しは行う。

## 9. IT事業部

(岩下) 活動内容は昨年同様。一般向けの内容を随時更新する。

## 10. 学術部

(今屋) 本年度は学術研修会3回、理学療法士講習会1回行う。

## 11. 教育部

(前田) 管理者教育プログラム第1ステージを行う。今年度より、日本理学療法士協会の委託事業となり、申し込み方法がメールになる。卒後教育は、リスク管理研修会、問題解決研修会を開催予定。臨床実習教育研修会は1回行う。

## 12. 学術事業部

(岩田) 9月の第45回市民公開講座の準備中。

## 13. 生涯学習部

(當利) 新人研修会を5回行う予定。1回目は厚生部主催。2回目以降は同テーマで土日2回を使って行う。今年度よりバーコードリーダーでの受付。

## 14. 福祉部

(西) 昨年同様の活動予定。

## 15. 事業部

(保田) 活動内容は昨年通り。『PTあ!(ピタ)』っと健康講座の会場がまだ未決定。

## 16. 表彰審査委員会

(山下) 昨年同様の活動を予定。りんどう賞の推薦を最終月曜まで募集している。

## 17. 法人事業審議委員会

(大籠) 年6回の会議を行う。

## 18. 選挙管理委員会

(奥村) 日本理学療法士協会の代議士選挙予定。詳細は後日連絡する。

## 19. 糖尿病小委員会

(溝上) 例年同様の活動。小児の生活予防習慣に関して新しい取り組みを思案中。

## 20. 小児領域小委員会

(市原) 例年通りの活動予定。

## 21. 呼吸小委員会 (欠席)

## 22. スポーツ領域小委員会

(西村) 年2回のテーピングを継続する。要請があり車いすテニス大会へボランティアを派遣する。

## 23. 熊本市ブロック菊阿地区

(樽山) 例年同様の活動予定。

## 24. 熊本市ブロック西地区

(富田) 健康フェスティバルの担当をする。

## 25. 熊本市ブロック中央地区

(興呂木) 6月に全体会議予定。

## 26. 熊本市ブロック東地区

(竹内) 例年同様の活動予定。

## 27. 熊本市ブロック南地区

(尾崎) 例年同様の活動予定。

## 28. 熊本市ブロック北地区

(塚本) 5月にブロック会議予定。

## 29. 県北ブロック

(浦上) 8月にブロック会議予定。

## 30. 八代ブロック

(塚島) 26年度に向けて公益2を計画中。

## 31. 天草ブロック

(水田) 4月にOTSTと合同で新人歓迎会開催。5月にブロック全体会議予定。また、定例勉強会を6回、特別講義を1回予定、昨年より天草リハビリテーション研修会を開催しており他のコメディカルの参加も募集する。

## 32. 県南ブロック

(藤井) 4月18日にブロック全体会議予定。年5回の勉強会と年1回の特別講義、OTST合同の懇親会を予定している。

## 33. 合同学会

(大脇) 現在、演題募集中。引き続き周囲の会員に登録の声掛けをお願いしたい。

## 34. 組織検討特別委員会

(前田) 業務洗い出しシートを未提出の委員会、事

務局、ブロック、小委員会は早急をお願いしたい。  
組織検討特別委員会から、次期部長の選定をお願い  
したい。来週の理事会に間に合わせたいので、15日  
締切で、事務局か前田のメールに報告をお願いする。  
以上、閉会。

## 平成25年度第1回理事会議事録(要約版)

日時：平成25年4月10日(水) 20:30～:22:10

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院  
(理事) 北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・  
佐藤・三宮・田島・増田・光本  
(監事) 寺川 (事務局員) 坂本  
(事務職員) 石黒・前田・吉永  
欠席者：(理事) 筒井・野津原・野間 (監事) 中島  
書記：杉谷・濱崎 (熊本機能病院)

### 1. 報告事項

#### 1) 平成24年度特別委員会報告

(会長) 内容は平成25年度第1回総会資料を参照。

◇公益法人対策特別委員会 (報告事項なし)

◇渉外活動推進特別委員会 (報告事項なし)

◇情報共有推進化特別委員会

(田島) 4月1日に協会ホームページ更新。

◇組織検討特別委員会 (報告事項なし)

◇訪問リハ対策特別委員会

(大脇) 平成26年6月、日本訪問リハ協会の全国学術大  
会が熊本で開催される予定。

(三宮) 訪問リハ地域リーダー研修会へは、タガワブ  
レースの四海氏を推薦したい。

#### 2) 熊本県臨床検査技師会創立60周年法人設立25周 年記念式典記念祝賀会について [前田副会長]

行政医専連関係等参加した記念式典であった。

#### 3) 広報誌「かくどけい」掲載内容について[広報部]

PTWalker及び医療介護ナビが終了。今後は過去講  
演等を一般向けに分かりやすく掲載予定。

#### 4) 平成24年度第8回呼吸循環系理学療法セミナー予 算不足について [呼吸領域小委員会]

第8回呼吸循環系理学療法セミナーが、豪雨冠水で  
中止。後日改めて開催したが、それにより準備費用  
が予算より¥6,978の不足となった。

#### 5) 学会評議員変更承認依頼について

[学会評議員会]

天草ブロック評議員の江崎氏から福田氏(天草中  
央総合病院)への変更。

#### 6) 平成25年度事業計画等の修正・変更について

○熊本市ブロック中央地区会議 [変更後]

期日：①25/6/6 ②26/2/20

○天草ブロック会議 [変更後]

期日：25/5/10 場所：天草第一病院

内容：平成24年度活動報告、平成25年度活動  
計画、次期ブロック長選挙

○天草ブロック第1回定例勉強会 [変更後]

期日：25/5/10 場所：天草第一病院

テーマ：「関節可動域制限に対する臨床での推論  
過程について」

講師：古田雄矢・櫻井祐輔・鶴長建太郎

○天草ブロック第2回定例勉強会 [変更後]

期日：25/6/14 場所：天草中央総合病院

テーマ：「脊柱の触診について」 講師：平井友規

○天草ブロック第3回定例勉強会 [変更後]

期日：25/7/12 場所：天草中央総合病院

テーマ：「脊柱の評価方法」 講師：武部啓太

○天草ブロック第4回定例勉強会 [変更後]

期日：25/9/13 場所：天草中央総合病院

テーマ：「脊柱の関節について」 講師：井上智博

○天草ブロック第5回定例勉強会 [変更後]

期日：25/10/11 場所：天草中央総合病院

テーマ：「脊柱のCOREについて」 講師：山本由佳

○天草ブロック第6回定例勉強会 [変更後]

期日：26/2/14 場所：天草中央総合病院

テーマ：「関節可動域制限に対する臨床での推論  
過程について」

講師：天草ブロック臨床3年目の会員

○天草ブロック特別講義 [変更後]

場所：天草中央総合病院

テーマ：「脊柱『圧迫骨折』に対する評価と治療」

講師：山本龍誠

○第55回学術研修会 [変更後]

期日：25/6/15・16

○第56回学術研修会 [変更後]

期日：25/9/8

## 2. 協議事項

### 1) 平成24年度事業報告・決算報告 [事務局]

(坂崎)資料の記載通り。決算では公益事業比率58%を担保できた。監査後最終報告予定。

### 2) 議決権行使書書式について [事務局]

(坂崎)欠席の場合には議決権行使書に第1号議案と第2号議案の賛否についてチェックと署名捺印の必要がある。チェックがなかった場合の委任先検討が必要。

(会長)誰に委任するかが問題。総会の議決に委任するがよいか? 挙手(11/11名)。

(会長)賛成も反対にもチェックをされていない場合には、総会の議決に委任したものとみなす。

(坂崎)どちらにもチェックが付いている場合には無効票とする。

### 3) 平成25年度熊本市地域リハビリテーション協議会各種委員会委員の推薦依頼について

(任期: H25. 4. 1~H26. 3. 31) [事務局]

- ・熊本市地域リハビリテーション協議会委員  
北里会長・野津原理事
- ・在宅サービス手引書編集委員会委員 川上理事
- ・訪問介護検討委員会委員 筒井理事
- ・リハビリテーション検討委員会委員 大協理事

### 4) 平成25年度熊本市健康フェスティバル実行委員会各種委員の選出及び企画内容について

[事務局]

(会長)富田地区長と大島副会長は企画準備委員、運営委員が富田地区長と次期担当地区長、西地区会員から在宅ケアコーナーの担当に1名選出していただくこととする。在宅ケアコーナーの選出は富田地区長が行う。

(飯星)在宅ケアコーナーに関しても次期地区担当者が参加することを依頼する。

### 5) 卒後研修会の挨拶文について [厚生部]

(坂崎)組織説明を会長、連盟は中島連盟会長、事業計画説明等は坂崎が説明を行う。

### 6) 第2回火の国こらよか福祉機器展の共催について [事務局]

(坂崎)賛助会員のミタカの企画で6月20日に開催。

(会長)今から準備は時間的に難しい。今回はお断りする。

### 7) 広報におけるTwitter等の利用について

(第12回理事会継続審議) [北里会長]

(提出要旨)協会のホームページへの登録率は3割ほど、情報伝達するには、ホームページ新着情報を何らかの方法で伝える必要がある。協会のTwitterのアカウントを作り、会員に一方向的にフォローしてもらうことで、新着情報を知らしめることが効果的であるのではないかと考える。

(吉永)ホームページの登録数は現在45%と若干あがっている。

(会長)今後も継続的に検討する。

(田島)毎年新人教育プログラムの際に時間を設けて会員登録するようにしたらどうか。

(会長)アナウンスし促していく。その他にどのような周知方法があるかも検討していく。今後県協会でも、広報部宣伝部に相談し検討していく。

## 3. その他

### 1) 新人プログラムの追加事項に関して

(當利)3月の末日に理学療法のための医療政策論の項目が追加されるとの報告あり。8/17・9/15に調整したが、講師謝金等が不足となる。

(大島)もし実施するのであれば講師は生涯学習部推薦の増田理事でよいか。また予算が追加されるがよいかを検討する。

(会長)必須ではないのか。

(大島)必須ではない。理学療法の専門性の4テーマから2単位を取得すればよい。

(前田)医療政策論という項目がどのようなものなのかがわかりにくい。

(三宮)政治的な動きに関して会員の認識を高める意味合いの内容。

(前田)必要性はわかるが専門性の項目の中に入るべき項目なのか。

(三宮)会員にも情報提供する必要はあると考えている。

(会長)今年度の新人プログラムに入れるかどうかを多数決で判断する。D-4の項目を実施したほうがよいか。

(理事) 挙手(6/11名)。  
(会長) 実施しないほうがよいか。  
(理事) 挙手(2/11名)。  
(会長) 他の項目と入れ替えて行ったがよいか。  
(理事) 挙手(3/11名)。  
(会長) 多数決の結果、実施するに決定。第2回および第4回新人研修会の16:30の枠で増田理事が講義をすることに決定する。  
(坂崎) 必要な追加の予算は次の理事会までに生涯学習部より事務局まで連絡頂きたい。

2) 理事会書記選出について [光本理事]  
6月は北里会長、7月は光本理事が調整。

3) 名刺更新に関して [佐藤理事]  
(会長) 名刺は変更する。

4) 次回の総会に関して [坂崎理事]  
(坂崎) 各特別委員会の活動内容プレゼン予定。  
(会長) 説明は会長が行う。

5) 公益社団法人への移行祝賀会について [佐藤理事]  
(会長) 大島副会長が計画を行う。

6) 昨年度の事業計画未実施に関する取扱いについて [事務局]  
(坂崎) 未実施理由確認は飯星理事にお願いする。  
以上、閉会

## 平成25年度第2回理事会議事録(要約版)

日時：平成25年4月17日(水) 19:15～21:36

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：(理事) 北里・大島・前田・坂崎・大脇・川上・佐藤・三宮・田島・筒井・野津原・増田・光本

(監事) 中島

(事務局員) 山本 (事務職員) 石黒・前田・吉永

欠席者：(理事) 飯星、野間 (監事) 寺川

書記：城戸(複合ケアホームはなぞのケアセンター)  
川添(自宅会員)

### 1. 報告事項

1) 平成25年度特別委員会報告

◇情報共有推進化特別委員会

(田島) 特に報告事項なし。

◇渉外活動推進特別委員会

(会長) 特に報告事項なし。先週から動きなし。

◇組織検討特別委員会

(前田) 資料が揃ったら委員会の開催を検討する。

## 2. 協議事項

1) りんどう賞の推薦について [表彰審査委員会]

(会長) 今回は1名のみ。

候補者) A氏 推薦者) 地区長

推薦理由) 学術部員。会議や研修会開催に意欲的・積極的。全国学会発表の実績あり。協会運営において今後不可欠な存在。会費未納はなし。

このような推薦者だが、ご意見はないか？

(三宮) 推薦理由がはっきりとしないようだ。

(佐藤) 基準が不明。過去のこのような経緯を考えると、基準の難しさからも今回の受賞は難しい。積極的に推薦したいが。

(大脇) 推薦されたときには積極的に推したい。もう少し推薦しやすい環境を作る方向に考えていっても良いのではないか。

(川上) 基本的には表彰したい。学術部でも頑張っている。全国学会でも発表している実績がある。(坂崎) 学術部長からの推薦であれば説得力があるが、地区長の推薦では薄い。

(田島) 地区長として出しているのであれば、地区での活動を評価して推薦すべき。推薦理由と推薦元の所属が一致していない。

(佐藤) 協会活動への貢献度が高いというだけの理由で、推薦して却下された場合、その後の推薦や本人に伝えにくいという場面が出て来ないか。

(会長) 基準がない分、理事会に裁量権がある。種々意見が出たが決定したい。

賛成7名・反対1名・どちらともいえない5名

(会長) 表彰することで決定して良いか？

(佐藤) 推薦者の地区は対象者の所属ではないが。

(田島) 地区が違うのであれば推薦者として該当しないのでは？

(中島) 推薦者の関係性に問題あり。地区長に話を戻して、再度提出すること。

(会長) 現推薦者に一旦差し戻して推薦元を適正にして改めて推薦頂くようにする。再推薦の場合、速やかにメールで内容を報告頂き、推薦状を確認の上



問題なければ表彰する方向で考えたい。総会の1週間前までに提出して最終決定を行う。

## 2) 平成24年度事業報告・決算報告

### (第1回理事会継続審議)

### [事務局]

(坂崎)別紙、前回総会で確認をいただいた分と変わらない。「第4回吸引セミナー」が中止になっている件。ブロックの会議予定が中止となっている。

(会長)八代ブロックの会議もインフルエンザの影響で集会の抑制がかかった。1月～3月は流行期となり開催が難しくなることが予測される。

(坂崎)事務局の方で文言修正を行うこととする。

吸引セミナー分はどうするか？

(会長)大雨による冠水の為できなかったという説明で理由付けを追加する。

### [監査報告]

(中島監事)4/12事務局で監査実施。三役・部長・事務職員等参加にて実施。公益社団移行に伴い形式を変更。

#### 1 監査の方法及びその内容

「各監事は、理事会及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿、又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。」

#### 2 監査意見

##### (1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

三 平成25年4月1日より公益社団法人に移行できることは当協会への社会的信頼を深化させる上でも、組織としての基盤強化を図る上でも大変意義あるものと評価できる。

四 専従の事務員を増員したことは公益社団法人としての事務局強化の一環として大いに評価できる。

五 当協会のホームページを有効活用するためにもホームページ内の会員登録を促進願いたい。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上、特段問題とすべき点はなかった。公益目的事業の比率に注目すると58.6%となる。予算執行の比率も上げる必要性あり。それぞれの理事がしっかりと意識し取り組んで頂きたい。会費納付率が93.7%で楽天カードの加入率が30%を割っていることは会費未納の抑制にならない。また、HPの会員登録率も低い。引き続き改善に努めて頂きたい。

(会長)祝賀会を行なっていれば数値はさらに下がっていた。今年度予算に祝賀会を入れている。これは公益事業に含まれないので、公益事業分の予算を執行していかないと不都合が生じる。もっとこまめに事業を計画して執行状況や数値を見ていく必要があり、理事からの指導も継続して行なっていくことが今後必要。

(三宮)楽天カード・HPに対しても年度目標を決める等具体的な取り組みが必要ではないか？

(前田)アンケートではクレジット機能付きカードの所持に反対意見が多くあった。

(会長)楽天カードでは、毎年決まった時期の会費納入がある。強制力はないが登録を促していく。楽天カード拒む会員に対しては別途対応し未納を防ぐ。

HPに関しては、情報提供の為の登録は必須。目標値を定め、定着するまではFAX等も併用。

HP登録を進めていけるようにいろいろな方法を講じてアピールしていく。

(坂崎)楽天カードに関しては、ターゲットを新人に絞りながら研修会などのたびに入会を促す。

(会長)今年度のHP登録の目標値を75%とし新人研修会やブロックでの会議で登録を促す。会費の納入率は100%を目標とする。

### 3) 広報におけるTwitter等の利用について

[北里会長]

(会長) SNSの中でTwitterは本名での登録でなくてもよく、また、こちらからフォローしなければ相手の情報が入ってくることはない。会員にフォローしてもらうことで、新着情報を知らしめることができな

いか。  
(会長) 新着情報に関してフェイスブックとツイッターではどちらの広報力が強いのか？

(田島) これが導入されると、HPの登録率が下がるのでは？

(野津原) ツイッターなどは常に確認することが必要となり、情報確認に漏れが生じる。

(会長) HPの登録の推進が目標なので、しばらくはツイッターやフェイスブックなどの活用は据え置きとする。来年度から広報宣伝部で検討頂く。

### 3. その他

(会長) 日本理学療法士協会からの情報で当会会員に物故者がいたことが判明した。円滑にこれらの情報が入るようなシステムが必要ではないか？ブロック長経由等で連絡が入るように会員への意識付けを行なっていく必要がある。

(坂崎) 日本理学療法士協会では、90日以内に提出することが定められている。死亡や本人住居が全壊してしまった場合など規定がある。

(佐藤) 情報の詳細な設定をしておかないと、際限なく情報が上がってくるのでは？

(会長) 逮捕されるなどの件も含めて必要情報を定めなくてはならないのでは？

(前田) 各ブロックで温度差があるようにも感じる。各ブロックでの運営マニュアルなるものを今後作っていかなくてはならない。

(会長) 会員の倫理観や常識の理解をもっと深める必要があるということ。ブロック長などを經由して協会への連絡が到達するように、会員の意識付けを促す。

(野津原) 会員のみでよいのか？

(会長) 会員のみでよい。

情報としては非会員の情報も把握しておく必要があるが、原則としては会員のみ情報経路を確立させることが必要。

(会長) 6月理事会書記は菊南病院担当 以上、閉会

### 平成25年度第3回理事会議事録(要約版)

日時：平成25年5月19日(日)9:00~10:00

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事) 北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・

佐藤・三宮・田島・筒井・野津原・増田・光本

(監事) 寺川・中島 (相談役) 森重

欠席者：(理事) 野間

(総会議長) 石原靖之

(九州中央リハビリテーション学院)

書記：竹内久美((株)くますま)

塚本幸子(熊本市立植木病院)

### 1. 報告事項

#### 1) 特別委員会報告

##### ◇情報共有推進化特別委員会

特になし

##### ◇渉外活動推進特別委員会

特になし

##### ◇組織検討特別委員会

(前田) 業務洗い出しシートの未提出が2部・委員会あるので提出していただくことと、日程調整をして1回目の会議を開催するので、追って連絡する。

#### 2) 委託事業調整

[渉外部]

##### ・荒尾機能訓練事業

田中久友(西整形外科医院)

木村昌美(関整形外科医院)

##### ・児童発達支援事業 ひまわりクラブ

増岡鮎美(熊本託麻台病院)

山内一正(熊本総合医療リハビリテーション学院)

#### 3) 平成25年度事業計画等の修正・変更について

##### ○第29回医療保険診療研修会

[変更後] 期日：25/5/30

##### ○第14回介護保険診療研修会開催

[変更後] 期日：25/6/25

##### ○第8回臨床実習教育研修会

[変更後] 期日：25/6/30

##### ○平成25年度リスク管理研修会

[変更後] 期日：25/8/25

##### ○平成25年度問題解決についての研修会

[変更後]期日：25/10/20

○平成25年度管理者教育カリキュラム

[変更後]期日：25/9/7

○第11回くまもと『PTあ! (ピタ)』っと健康講座

[変更後]期日：25/7/28

場所：南部総合スポーツセンター

テーマ：「健康ランニング」

講師：地下翔太氏(球磨村役場)

○第3回県民健康スポーツ教室

[変更後]期日：25/5/19 雨天時は5/26へ延期

#### 4) 医療保険連絡会議について [北里会長]

85歳以上の脳血管疾患等を中心に、単位数を減じる査定が昨年12月分の医療保険請求時に行われたことを受け、当会・作業療法士会・言語聴覚士会はその対策と、保険請求の実態及び超高齢者に対するリハ介入の効果等を調査する目的で上記の会議を開催することとした。当協会からは三宮理事、河島保険部長、北里の3人、作業療法士会からは2名、言語聴覚士会からも2名が出席。8月末には対象施設にアンケート調査の依頼を行えるよう準備を進めてゆくことを確認。

#### 5) 広報誌「かくどけい」について [広報部]

今後新たに「医療・介護お役立ち情報」というコンテンツを掲載予定である。

かくどけいに関しては、一般市民向けの広報誌として掲載していくことを検討中である。

## 2. 協議事項

### 1) 第1回熊本県理学療法士総会の進行について

(坂崎) 現在会員数が1,861名で定足数は931名。97名が出席予定。議決権行使書数は992名返却済で定足数は満たしている。議長は石原氏にお願いしたい。書記の任命は議長より行う。竹内氏と塚本氏にお願いしたい。議事録書署名人も議長より推薦、岩本氏と野田氏にお願いしたい。

第1号議案は3月の総会で一度承認を得た平成25年度の事業計画と予算に関しての案件で、公益社団法人の立場で承認が必要である。今回から議決権行使書を用いて、会員の1票を賛否に掛けるようにしている。議長から採決方法について説明頂きたい。採決は挙手にて行い議決権行使書の賛否と総会出席者の

賛否を併せて議決案を採決したい。賛成と反対と両方を挙手にて人数確認したい。執行部が挙手をするか否かは後に検討する。

第2号議案。平成25年度の報告だが執行部より行う。重点事業のプレゼンは会長より説明。引き続き、事業報告と決算報告を私が行う。監査報告の後に質疑となる。第2号議案の採決も第1号議案と同様に行う。最後に議長自ら議長の解任を行う。りんどう賞に関しては、今回表彰なし。

(会長) 採決の際、執行部はどうするのか？

(寺川) 議決権あるので、出席者の賛成プラス理事の人数としてはどうか。総会場で執行部が挙手するのは控える。

(坂崎) 採決の中で扱い方として、役員の票を賛成票に回すという理解があれば良いのではないかな。

(大島) しかし、理事会の中でも採決しているので、一会員として反対に回る場合もあるのではないかな。(増田) 行政では、理事会の中で反対票があったとしても賛成で決定となった場合は、執行部としては賛成とするのが一般的である。

(会長) 理事会では賛否あったと思うが、理事会で賛成したことは役員として全員賛成票で統一するということで、よろしいかな？

(理事) 了承。

(石原) 議決の際には、賛成と反対の両方とも挙手をしてもらう方法でよいかな？

(会長) 賛成・反対の両方挙手してもらう。順番は賛成が先で良いかな。

(理事) 了承。

### 2) りんどう賞の基準の新設について [三宮理事]

りんどう賞表彰について、表彰基準がなく、各理事の基準もそれぞれに違う。また、一理事の立場では、会員の代表として職位を与えられている為、責任を持った判断をする必要がある。これらの観点から最低限の基準を設けることが、スムーズかつ会員も理解し易い状況に出来るのではないかと考え提案する。

(私案)

1. 養成校卒業(国家資格取得)年度に入会し、3年以上10年未満で現在まで入会が継続している。
2. 入会后3年間以上、部局又はブロック活動などを行っている
3. 3回の発表・論文などの学術実績がある

4. 会費未納や罰則などの前歴がない  
5. 理事・部局長・ブロック長の推薦がある  
(会長)全部条件を満たしていないといけないのか。  
(三宮)すべてというわけではない。  
(会長)1. 4. 5は満たす人が多いと思う。2. 3はどちらか満たしていれば良いように思う。  
(三宮)すべて満たせば文句なしに推薦できる。  
(田島)2に関しては、過去のりんどう賞に当てはまらない人もいるのでは。3に関しては上記以外の学術的表彰があるので基準には不適と思われる。  
4の罰則は入会前後いつからにするか。  
(佐藤)1. 4. 5を満たす人は多いと思われるので2・3を満たす方が良いのではないかと。  
(会長)この私案を基にもう少し詰めたい。私案について各自持ち帰って、次回の理事会で検討したい。

### 3) 理学療法士講習会の講師について[教育部]

認定・専門理学療法士の講師である事が望ましいという内容について、2016年度以降は認定専門理学療法士が講師となる。専門理学療法士ならびに認定理学療法士の資格者選出が課題となるので検討頂きたい。  
(三宮)2016年度以降に関して、認定・専門理学療法士が必要となるが、会員の中でまだ少ない。2016年になって動いても遅い。  
(会長)日本理学療法士協会に確認して、今後は県協会のマイページ中にも入力頂くようにしてはどうか？今後、専門領域研究部というのできるので、認定・専門理学療法士の取得を促進していく。教育部で、日本理学療法士協会に確認頂く。  
(三宮)教育部としては今回県内の認定・専門理学療法士を把握したい。  
(会長)今後のこともあるので、講師規程としてどこまで認定が必要か次回までに確認しておくように。

### 4) 医療保険連絡会議について [北里会長]

#### ①3士会の会員名簿の突合に関して

・調査の対象を絞りやすくするため、当会・作業療法士会・言語聴覚士会の会員名簿を突合したい。  
私案:調査の対象をイメージしやすくするため、また、回収を確実にするためにも、会員名簿の医療保険連絡会議への提出を許可していただきたい。

#### ②医療保険連絡会議に係る費用に関して

私案:交通費、会議費、通信連絡費、事務消耗品費等の費用が発生する。この費用は3士会で分担、負担すべきものである。予算の捻出をお願いしたい。  
(会長)8月に統合する様に計画している。そのために、施設に調査をお願いしたい。それに対しての費用が発生する。施設の人数把握に関して、承認いただける方は挙手をお願いしたい。  
(理事)承認

### 5) その他

・協会のスリッパ購入について  
(坂崎)協会の方でスリッパを購入した。  
・予算以外のブロック内の勉強会について  
(飯星)あるブロックで、会議だけの予算を今年度計上していたが、地区内での勉強会を開催したい。経費はかからないが、勉強会の開催は可能かとのこと。経費が発生しなければ、開催は可能ではないか。  
(会長)実績として報告はしてもよいのではないかと。来年度の計画として次年度からは挙げていただくようにすればよい。

以上、閉会

### 平成 25 年度第 1 回総会議事録 (要約版)

日 時：平成25年5月19日(日)10:00～11:05

場 所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・

佐藤・三宮・田島・筒井・野津原・増田・光本

(監事)寺川・中島 (相談役)森重

欠席者：(理事)野間

議長：石原靖之(九州中央リハビリテーション学院)

議事録署名人：

岩本眞一郎(熊本駅前看護リハビリテーション学院)

野田智愛(熊本回生会病院)

書記：竹内久美((株)くますま)

塚本幸子(熊本市立植木病院)

#### 1. 開会の辞 (前田副会長)

平成 25 年度事業計画、平成 24 年度の事業報告について、審議いただきたい。

#### 2. 会長挨拶 (北里会長)

4 月 1 日から公益社団法人として新たな一歩を踏み出すことができた。公益事業比率が 50%以上となる

が、今年度の予算では52～53%である。更なる協力をお願いしたい。今年度から情報提供をHPへ移行したい。確実に新着情報が届くように未登録のかたは登録をお願いしたい。

### 3. 定足数報告 (坂崎専務理事)

(坂崎) 会員数1,861名で931名の定足数が必要。現時点での出席が97名。議決権行使書は992名から届いている。本会が成立したことを報告する。

### 4. 議長選出

理事会より、九州中央リハビリテーション学院の石原靖之氏を推薦。拍手にて承認される。

### 5. 書記任命

理事会より塚本幸子氏(熊本市立植木病院)、竹内久美氏(榊くますま)を推薦。拍手により承認される。

### 6. 議事録署名人名任命

理事会より岩本眞一郎氏(熊本駅前看護リハビリテーション学院)、野田智愛氏(熊本回生会病院)を推薦。拍手にて承認される。

### 7. 議事

#### 1) 第1号議案:

公益社団法人 熊本県理学療法士協会

平成25年度事業計画(案)・予算(案)に関する件

(石原議長) 執行部より説明いただきたい

(坂崎) 第1号議案について。本議案は平成25年3月に第2回総会の議案として審議のうえ、承認頂いた平成25年度の事業計画と予算である。改めて公益社団法人熊本県理学療法士協会の事業計画と予算として承認頂く必要がある。計画予算は全く同じ内容である。

重点事業としては、情報共有の推進化、渉外活動、組織の検討の3点を掲げている。

公益事業1として健康講座等の開催を予定。公益事業2講師派遣や健康フェスティバルの開催支援等がある。公益事業3は、学術研修会の開催等を予定している。会員の資質向上のための事業を共益事業、本会の目的達成に必要な管理運営を管理と位置づけている。

収支について、経常費用合計が¥32,645,125。そのうち公益事業経常費用合計が¥17,092,284。公益目的事業比率が52.4%である。

(石原議長) 質問のある方は挙手で願いたい。

(楠本(こども総合医療センター)) 県より相談があり、特殊支援学校にセラピストが必要だが採用が難しい、

病院からの派遣などはできないのかとのこと。今後の活動について説明してほしい。

(会長) 本件については全国的な規模でPT・OT・STで働きかけがある。昨年日本理学療法士協会からも通達があった。しかし、適確な情報収集は難しい。組織再編の中で円滑な情報収集ができるようにしていきたい。人材派遣については急な要請があった場合、対応できるような組織づくりが必要であり検討したい。行政に対するアピールも踏まえ検討したい。会員の皆様も限り協力頂きたい。

(楠本) 宜しく願いたい。専門性を持っている人員を把握し、行政に働きかけを行ってほしい

(石原議長) 第1号議案について採決を挙手で行いたい。〈集計〉

会場出席者100名、出席者中賛成97名、反対0名。議決権行使書による賛成797名、反対4名。総会委任状188名。結果、賛成票計1,082名、反対票計4名。よって本議案はここに承認されたことを報告する。

#### 2) 第2号議案:

社団法人 熊本県理学療法士協会

平成24年度事業報告・決算に関する件

(石原議長) 執行部より説明いただきたい

平成24年度重点事業について

(会長) ①公益法人対策特別委員会: 平成25年4月1日より公益法人に移行することができた。当初の目的を完遂することできたため当委員会は解散。

②情報共有推進化特別委員会: 24年度はホームページの管理運営・補修改善を中心に事業展開。組織改編に伴うホームページの改装準備にも着手。HP登録が45%、今年度75%を目標とする。

③訪問リハ対策特別委員会: 実務者研修をPT・OT・STと訪問リハ研の4団体で実施。事例集をHPにUPした。訪問リハステーション設置が実現できなかったことを踏まえ、平成24年度で解散。

④渉外活動推進特別委員会: 熊本城マラソンにボランティアとして参画。九州北部豪雨災害後、県に対し避難所での廃用症候群予防のパンフを紹介。行政に対しての更なるアピールが必要。

⑤組織検討特別委員会: 平成26年度の組織改定に向け、対応中。26年度の事業計画・予算案は新組織体制で立案できるよう準備を進めてゆく予定。

## ・平成 24 年度事業報告

(坂崎)資料をご確認いただきたい。

公益事業 1 として、第 10 回公開講座は「夢をかなえる脳」をテーマとし、約 1,000 名の参加を得た。公開講座はベッドサイドリハと福祉用具に関する内容で多数の医療関係職の参加を得た。第 2 回県民健康スポーツ教室では 160 名の参加者があり、グラウンドゴルフ大会に合わせて体操指導等を行った。

公益事業 2 としては、講師派遣に関する事業、関連職種との交流・連携及び公開講座の共同開催に関する事業等を行った。

公益事業 3 として、第 17 回県学会では 400 名近い参加を得た。公開学術研修会はボバース、カウンター理論、肩関節障害をテーマに開催した。その他、臨床実習研修会、専門領域研修会等を開催している。

共益事業としては、新人研修会、管理者研修会、卒後研修会、保険診療研修会、ブロック活動、他団体関連の会議出席等がこれにあたる。

管理運営については、当会の PR 活動、賛助会員懇談会、総会・理事会等諸会議の開催がある。

## ・平成 24 年度決算報告

貸借対照表について、平成 24 年度の資産合計 ¥48,539,413 である。負債合計は ¥467,749、負債及び正味財産合計で ¥48,539,413 となる。正味財産増減計算書の経常収益計では ¥3,640,914 の増額、経常費用計では ¥4,612,312 の増額となっている。全体の経常費用合計が、¥30,246,927。公益事業の経常費用合計が、¥17,722,295 で、公益目的事業比率が 58.6% となった。以上、平成 24 年度の事業報告と決算報告である。

## ・平成 24 年度監査報告

(寺川)各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査した。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討。更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。
- 三 平成 25 年 4 月 1 日より公益社団法人に移行できることは当協会への社会的信用を深化させる上でも、組織としての基盤強化を図る上でも大変意義あるものと評価できる。
- 四 専従の事務員を増員したことは公益社団法人としての事務局強化の一環として大いに評価できる。
- 五 当協会のホームページを有効活用するためにも、ホームページ内の会員登録を促進願いたい。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。

(石原議長)第 2 号議案について採決を挙手で行いたい。〈集計〉

会場出席者 99 名、出席者中賛成 99 名、反対 0 名。議決権行使書による賛成 797 名、反対 4 名。総会委任状 188 名。結果、賛成票計 1,084 名、反対票計 4 名。よって本議案はここに承認されたことを報告する。

## 8. 議長解任

## 9. 表彰

第 17 回熊本県理学療法士学会 新人賞

青木大輔氏 (熊本機能病院)

浦田聖也氏 (整形外科井上病院)

緒方智子氏 (熊本リハビリテーション病院)

五瀬彩乃氏 (江南病院)

中熊康浩氏 (清水整形外科医院)

## 10. 閉会の辞

(大島副会長)

(大島)平成 25 年度第 1 回公益社団法人熊本県理学療法士協会総会を閉会する。

以上、閉会

# 各部・委員会報告

## 福祉部 部長 木原 伸一

今後の福祉部の活動について、簡単ですが、ご報告いたします。

県民の皆様への貢献事業の一環として、毎年障害をもつ子どもさん達の就学等の支援を含めて介護教室を開催しています。

今年度以下の内容で開催いたします。関係機関にはご案内いたしますが、ご興味のある方はご連絡、ご参加をお待ちしています。

テーマ：「障害を持つ子ども達の理解

～乳幼児期の発達特徴とその支援～

対象：熊本市の療育関係者

(保育士、幼稚園教諭、保健師など)

日時：平成 25 年 10 月 27 日 (日)

9:30～15:00 (受付 9:00 開始)

場所：九州中央リハビリテーション学院 講堂

熊本県熊本市本山 3 丁目 3 番 84 号

電話番号 096-322-2200

講師：浪本正晴 氏

(九州中央リハビリテーション学院

理学療法士)

今村三奈子 先生

(さつきヶ丘保育園 保育士)

野島麻裕 先生

(熊本託麻台リハビリテーション病院

作業療法士)

参加費：1000 円

定員：50 名

問い合わせ先：九州中央リハビリテーション学院

理学療法学科 浪本正晴

電話番号 096-322-2200

FAX 096-322-6464

また、昨年開催され参加者の多くが涙し、感動され、反響の大きかった福祉研修会「命の授業」を今年度も以下の内容で開催しますので、多くの皆様の

ご参加をお待ちしています。(正式なご案内は 9 月に行います)

平成 25 年度「福祉研修会」を、「命の授業 ～夢を支えるセラピストへの提言～」と題して、神奈川県より「腰塚勇人先生」を講師にお招きして、研修会を企画しました。

元教師であられる腰塚勇人先生は、不慮の事故により深刻な障害を受けられ、懸命のリハビリテーションによって奇跡的な回復をされ、念願の社会復帰(教職への復帰)をされたご経験を通じて、人生も人生観も大きく変化されました。そのご経験から、全国の子供たちや大人に、「命の大切さ、生きていることの素晴らしさ、両親・家族・仲間の大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せについて、また、一人一人が誰かを照らす存在であること」を、講演を通じてメッセージを伝えられています。

You Tube の「命の授業」動画は、30 万人以上の人が感動され、社会的に大きな反響となっています。

今回、腰塚先生の夢を支えたセラピスト達や関係者、ご家族の関わりを通じて、患者の視点からみた私達への提言をいただき、日頃の業務の中で薄れがち大切なことやリハビリテーションについて、たくさんのお気づきを皆様と分かち合いたいと思います。

ぜひ、皆様方のご参加をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

テーマ：「命の授業

～夢を支えるセラピストへの提言～

日時：平成 25 年 11 月 29 日 (金)

18:30～21:30 (予定)

場所：九州中央リハビリテーション学院 講堂

講師：腰塚 勇人 (こしづかはやと) 先生

(講演家、元体育教師・養護教員)

参加費：会員 1000 円 会員外 2000 円

申し込み先：武蔵ヶ丘病院

梅田 E-mail:s-kihara@tanakakai.com

## 表彰審査委員会 委員長 山下 智弘

表彰審査委員会では、各種団体・自治体等外部よりの表彰推薦依頼や日本理学療法士協会・熊本県理学療法士協会会員の各種表彰のための推薦根拠となる、資料の作成・管理をおこなっております。

今回、平成 25 年度新規入会の会員さまを対象とした「表彰に関するデータ入力」を実施するにあたり、改めて入力方法をご案内いたしますので、各施設の所属長の方々は、入力作業のサポートをしていただきますようお願い致します。

平成 23 年度より、熊本県理学療法士協会のホームページより、「**本人が直接入力**」していただくことになりました。したがって、熊本県理学療法士協会のホームページにて「ログイン申請」の手続き終了された後、**会員ログイン** ⇒ **会員 MY メニュー** ⇒ **個人情報登録・変更** ⇒ **各種フォームへ入力** をお願い致します。

入力に際しましては、『入力項目および入力時の注意点』を参考に、ご入力お願い致します。

### <入力項目および入力時の注意点>

#### 1：本籍の項目

⇒『本籍』をドロップダウンの項目より選択して下さい。

#### 2：休会の項目

⇒『休会経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒休会経験：『有』の方のみ、休会期間を入力して下さい。

#### 3：学歴および職歴の項目

##### 『学歴』

⇒○年○月および高等学校卒業より以降について入力下さい。

##### 『職歴』

⇒職歴のある方は、入力下さい。

#### 4：学術事業に関する業績の項目

『学会業績の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『各種学会回数』の欄には、「主演者」の回数を入力して下さい。

⇒『学会その他』の欄には、座長・シンポジスト・コメンテーター等の経験について具体的

に入力して下さい。

『講習会等講師の経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒講習会講師等の回数ならびに講習会名を入力して下さい。

⇒『論文数』の欄には、筆頭執筆者での回数のみを入力して下さい。

『著者活動の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『著作署名』、『著作出版社』を入力して下さい。

⇒『著作状況』の欄には、単独執筆あるいは共同執筆の別を選択して下さい。

#### 5：役員等の経歴の項目

『役員経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『役員経験《熊本》』の欄には、役員・部員・委員・ブロック長、学会・研修会役員等の経験について入力して下さい。

⇒『役員経験《全国》』の欄には、役員・部員・委員・代議員、学会・研修会役員（全国・九州地区）等の経験について入力して下さい。

#### 6：所属する学会・研究会等の項目

『所属する学会・研究会等』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、入会年度および名称を入力して下さい。

#### 7：教育に関する経験の項目

『常勤講師および非常勤講師』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「勤務先」・「講義名」・「経験年数」を入力して下さい。

『臨床実習指導経験』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「経験年数」を入力して下さい。

⇒『臨床実習指導経験』の欄は、実務経験 3 年以上で、スーパーバイザーの経験をお持ちの方のみ入力して下さい。サブバイザー、ケースバイザーは該当しません。

#### 8：『その他』の項目

『免許・資格』の有無にチェックを入れて下さい。



⇒『有』の方のみ、「取得年度」、「免許・資格の内容」・を入力して下さい。

⇒学位等も内容の欄に入力して下さい。

『賞罰』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「年度」、「賞罰の内容」を入力して下さい。

ただし、施設内のものは除外します。

\* 各項目入力するための欄が不足した場合には、**入力欄を追加する**をクリックし、欄を増やして下さい。

\* 各自、熊本県理学療法士協会のホームページにより『ログイン』され、平成25年12月31日までに、入力いただきますようお願い致します。

<入力に関する問い合わせ先>

〒869-0532 宇城市松橋町久具 691

宇城総合病院 リハビリテーション部

TEL : 0964-32-3111 (内線 : 695)

E-mail : [ukisogo-rehashien@reimeiki.jp](mailto:ukisogo-rehashien@reimeiki.jp)

担当 : 山下 智弘

**渉 外 部 部長 坂崎 浩一**

### ● 日本理学療法士協会 第42回定時総会

日時 : 平成25年6月8日 13:00~17:00

会場 : ベルサール渋谷

出席 : 北里・大島・坂崎・田島・増田・野津原

審議事項 :

第1号議案 協会名誉会員の承認を求める件

第2号議案 定款改正案の承認を求める件

第3号議案 定款細則改正案の承認を認める件

第4号議案 平成25・26年度役員を選定を求める件

第5号議案 平成24年度事業報告・決算報告の承認を求める件

第6号議案 議事運営委員の承認を認める件

報告事項 :

1、平成24年度監査報告について

2、平成25年度事業計画予算について

インターネットによる役員選結果に基づき半田会長以下理事23名、監事3名が承認された。



### ●九州ブロック役員研修会

日時 : 平成25年7月6日 15:00~18:00

会場 : 麻生リハビリテーション大学校

内容 : 「決算書の身方と確認」

「法益法人の事業運営について」

出席 : 北里・坂崎

研修では公益会計基準に基づく財務諸表の基本的見方について説明がなされた。また、九州各県の決算書の確認がなされ、当会は高い評価を頂いた。

### ●平成25年度臨時九州ブロック各県理学療法士会長会議

日時 : 平成25年7月13日 17:00~19:00

場所 : ドウイング三日月 (佐賀県小城市)

審議事項 :

①日本理学療法士協会平成25.26年度執行体制における都道府県士会長の役割に関して

②政策活動委員会(仮称)の創設について

③協会次年度事業計画・予算案に対する意見調整

### ●熊本市保健医療専門団体連合会代議員の推薦について

代議員(理事候補) 田島理事

代議員 増田理事

予備代議員 佐藤理事

## 宣 伝 部

部長 草野 隆夫

### ○平成 25 年 6 月 11 日 (火) 18:00～宣伝部会議

場 所：水前寺とうや病院

参加者：草野、西橋、工藤、藤永

- ・新人研修での入会案内について
- ・文書にして、懇親会で配布する
- ・参加者 82 名に配布する

内 容：日本及び熊本県 PT 協会の活動報告、入会の必要性及び特典、今後の方針、生涯学習についてなど

### ○新人研修での入会案内について

日 時：平成 25 年 6 月 15 日 (土)

場 所：ホテルニューオータニ

担 当：草野

書類作成：藤永、工藤

書類内容：日本及び熊本県理学療法士協会の活動報告、入会による特典、会員人数の推移など

### ○平成 25 年 6 月 26 日 (水) 10:00～抽選会参加

コミュニティーボードへのポスター掲示が可能になるための抽選会に参加し当選する。熊本市内のコミュニティーボード 20 箇所に掲示可能となる。

### ○平成 25 年 6 月 26 日 (水) 18:00～宣伝部会議

場 所：水前寺とうや病院

参加者：草野、西橋、角田、林、大平、染田、井彩、岩崎、池上、井拓、志賀、島村、石田、宮本、奈良、坂梨

内 容：平成 25 年度の第 11 回くまもと「PT あ！(ピタ)」っと健康講座の広告のため、コミュニティーボードへのポスター掲示をする。本日より分担して掲示を開始する。

- ・次回抽選後もポスター掲示を実施する。
- ・抽選日：7 月 17 日 (水) 10:00～ 市役所にて

### ○ユニホームの貸し出し

平成 25 年 6 月 2 日 (日)

- ・荒尾市健康福祉まつりにて

平成 25 年 6 月 25 日 (火)

- ・保健部の活動にて

平成 25 年 7 月 7 日 (日)

- ・学術部の活動にて

## 保 険 部

部長 河島 英夫

去る 5 月 30 日、フードパル熊本の熊本市食品交流会館多目的ホールにおきまして、第 29 回医療保険診療研修会を開催いたしました。参加者数は 104 名のぼり、多くの方々のご参加に頂きましたことに感謝を申し上げます。



また、6 月 25 日に同会場におきまして、第 14 回介護保険診療研修会も開催いたしました。こちらも参加者数 111 名と、多くの方々のご参加に頂きました。合わせまして、感謝を申し上げます。



今年度に予定しております保険診療研修は全て終了いたしました。研修会につきましては、会員の皆様からのご希望のテーマを募集しております。ご希望のテーマを記載のうえ、下記のメールアドレスにメールをお送り頂けましたら幸いです。

保険部メールアドレス

[hokenbu.kumamoto.pt@gmail.com](mailto:hokenbu.kumamoto.pt@gmail.com)

今後とも何卒よろしくお願いいたします。

◎平成 25 年度の新人教育研修会について

今年度の新人教育プログラムの研修会は 5 回を予定しています。すでに 6 月 15 日の第 1 回新人研修会は終了しましたので、残るは第 2～5 回の研修会となりました。この研修会は朝 9 時～午後 5 時半まで丸 1 日かけ 2 日間で 14 テーマを終わらせます。この 2 日間の研修会を 8 月 17 日（土）・18 日（日）と 9 月 15 日（日）・16 日（月）の 2 回開催致します。

・研修会の申し込みについて

研修会の案内は、前もって各病院・施設に郵送致します。また、日本理学療法士協会のホームページにも掲示するようになっていきます。各自確認していただき、受講もれなどないように計画を立てて申し込みをお願い致します。なお、申し込みにあたり必ず期限を守っていただきますようお願い致します。

・研修会受講時の会員カード持参について

研修会の受付は、IC カードリーダーにて行いますので、受講の際は必ず会員カードをご持参下さい。



・受講後の単位の反映について

受講後、マイページへ単位取得が反映されるまでには多少の時間がかかります。ご了承をお願い致します。

・修了処理に関して

新人教育プログラムの修了処理はマイページ上で行います。修了単位に達すると、仮修了というボタンが現れますので、そこをクリックすると修了申請が行えます。仮修了から修了に変更されれば、修了処理は完了します。日本理学療法士協会より新プロ修了証が発行・送付され、マイページ上で新プロ修了が確認できましたら、専門領域研究部会への登録をお願い致します。※会員歴 11 年目以上で新人教育プログラム未修了者は再度新人教育プログラムを履修する必要があります。

・お問い合わせに関して

ご質問は随時受け付けておりますが緊急の場合以外

はメールにてお願い致します。

メールアドレスは… [kpta.lld@gmail.com](mailto:kpta.lld@gmail.com)

緊急の場合は…

部長:當利賢一(所属:介護老人保健施設 清雅苑)

096-345-8112 内線 7308

平成25年度 新人研修会 予定表

時間	第2回新人研修会 8月17日(土)	第3回新人研修会 8月18日(日)
9:00~10:00	A-1	D-1
10:10~11:10	A-3	D-2
11:20~12:20	A-4	D-3
12:20~13:00	昼食	昼食
13:00~14:00	A-5	E-1
14:10~15:10	B-1	E-2
15:20~16:20	B-2	B-3
16:30~17:30	D-4	B-4
時間	第4回新人研修会 9月15日(日)	第5回新人研修会 9月16日(月)
9:00~10:00	B-2	E-2
10:10~11:10	B-1	E-1
11:20~12:20	A-5	D-3
12:20~13:00	昼食	昼食
13:00~14:00	A-4	D-2
14:10~15:10	A-3	D-1
15:20~16:20	A-1	B-4
16:30~17:30	D-4	B-3

講座名	新テーマ	単位	修了要件単位数
必須初期研修	A-1 理学療法と倫理	1	5単位
	A-2 協会組織と生涯学習システム	1	
	A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む)	1	
	A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む)	1	
	A-5 理学療法における関連法規	1	
理学療法の基礎	B-1 一次救急処置と基本処置	1	3単位
	B-2 クリニカルリーズニング	1	
	B-3 統計方法※1	1	
	B-4 症例検討・発表の仕方 ※1	1	
理学療法の専門性	D-1 社会の中の理学療法	1	2単位
	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	1	
	D-3 理学療法の研究方法論	1	
	D-4 理学療法のための医療政策論	1	
理学療法における人材育成	E-1 臨床実習指導方法論	1	1単位
	E-2 ティーチングとコーチング	1	
	E-3 国際社会と理学療法	1	

※1 理学療法士養成校において学士または高度専門士取得者は免除

猛暑が続いておりますが、会員の皆様は体調を崩されておられませんでしょうか。近年の夏は危険ですので対策を怠らずに乗り切りましょう。

さて、研修会も夏から秋にかけて集中的に開催されます。遊びに行きたいパワーを勉強にぶつけてみませんか。皆が遊んでいる間に自分は勉強をする！という格好いい理学療法士を目指しませんか。

それでは、各研修会の報告と進捗状況をお知らせします。

## 〈終了報告〉

### 『第55回学術研修会』

テーマ：「筋の運動学と関節可動域制限に対する運動療法」

講 師：市橋 則明 先生

(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系  
専攻リハビリテーション科学コース理学療  
法学講座運動機能開発学分野 教授)

日 時：平成25年6月15日(土)～16日(日)

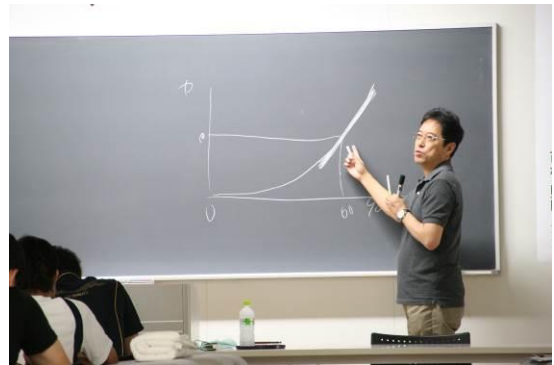
会 場：熊本保健科学大学

参加者：理学療法士 50 名

所 感：今回開催された平成 25 年度第 55 回学術研修会は、京都大学の市橋則明先生をお招きし、『筋の運動学と関節可動域制限に対する運動療法』と題して、筋の機能と運動学、関節可動域の評価とトレーニング、ストレッチングに関する理論的根拠と実際についてご講義頂きました。本研修会は、1 日目に講義を行い、2 日目に講義と実技を主体とした内容となりました。基礎的な運動学からストレッチングに関する最新の研究結果を紹介され、分かり易く理解を深められる内容でした。またしっかりと筋の走行や作用を理解し正しいストレッチングに必要な手技を、実践を通して行いました。実技を通して正しいストレッチングを行うことはとても重要な理学療法の一つであることを再認識することができ、さらには臨床において治療の幅が広がるものとなりました。アンケート結果では、「大満足」「大変良かった」「まだ

聞き足りない」「また市橋先生の講習会を開催して欲しい」という声が多数聞かれました。本講習会の内容は、現場で即実践できるものばかりであったため、参加した皆様が日々の臨床で活用されることを切に願います。最後に、ご協力いただいた関係各位ならびに熱心に受講していただいた会員の皆様に御礼申し上げます。

(報告者：熊本セントラル病院 宮村良)



### 『理学療法士講習会(応用編)-報告-』

テーマ：「下肢疾患の理学療法

～局所機能のつくり方と運動連鎖の応用の仕方～」

講 師：園部 俊晴 先生

(関東労災病院リハビリテーション科主任  
理学療法士)

講 師：今屋 健 先生

(関東労災病院リハビリテーション科主任  
理学療法士)

日 時：平成25年7月6日(土)～7日(日)

会 場：熊本保健科学大学

参加者：理学療法士 39 名

所 感：本講習会は、日本で最初にスポーツ整形外科を立ち上げた関東労災病院にご勤務の臨床家お 2

人を講師に招き、20 数年間の臨床経験を惜しげもなく提供していただきました。1 日目は今屋健先生による膝の局所機能再建に関わる理学療法の考え方と治療について、解剖・運動学を中心に臨床家の視点でまとめられました。解剖の専門家から聞くものとはまた違った内容で大変興味深く聴講することが出来ました。後半は膝の臨床評価を中心とした実技を交え、即応できる技術ばかりでした。2 日目は、運動連鎖の応用の仕方について、園部俊晴先生より講義頂きました。臨床的な動作分析ということもあり、一気に難易度が上がりましたが、分かり易い説明と多くの動画・事例提示・実技により理解を深めることが出来ました。特に、「関節運動」「モーメント」「時期」をポイントとした簡潔で奥深い視点は、多くの受講者の新たな発見につながったのではないかと思います。園部先生は臨床家の中でも数少ない動作分析の達人であると今回の講義を聴いて確信しました。受講者は全国から集まり、遠くは東京からお越し頂きました。次年度、次次年度と連続開催が決まっている本講習会では、お気軽に参加できる県内の理学療法士の皆様の参加をお待ちしております。

(報告者：熊本機能病院 濱崎寛臣)



#### 《開催予定》

##### 『第 56 回学術研修会』

テーマ：「ペインリハビリテーション」

講師：沖田 実 先生

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科運動障害リハビリテーション学研究室)

講師：松原 貴子 先生

(日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法専攻教授)

日時：平成25年9月8日(日)

会場：九州中央リハビリテーション学院

対象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定員：100名

申込み期間：平成 25 年 7 月 9 日～8 月 17 日

申し込み方法：熊本県理学療法士協会 HP 申込フォームより

##### 『第 57 回学術研修会』

テーマ：「リハ専門医からのメッセージ～リハビリテーション医療に必要な知識と管理～」

講師：松元 秀次 先生

(鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター医局長 助教)

日時：平成25年11月17日(日)

会場：九州中央リハビリテーション学院

対象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定員：100名

申込み期間：平成 25 年 9 月 9 日～10 月 25 日

申し込み方法：熊本県理学療法士協会 HP 申込フォームより

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

九州北部豪雨で被災された皆様、東日本大震災の被災者の皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

教育部 部員一同

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

教育部の前田です。上記九州北部豪雨から1年がたちました。内牧温泉街も活気を取り戻しつつあり復興も進んでいる様ですが、まだまだ完全とはいえませんね。1日も早い完全復興をお祈り申し上げます。

さて当教育部では各研修会やお役立ち情報等の情報を、熊本県理学療法士協会ホームページを通じて発信してまいりますので、ログインIDの登録、ならびに公益社団法人日本理学療法士協会（以下：JPTA）のマイページ登録（どちらも無料）をよろしくお願ひ致します。

☆各班の活動です

◎**卒後教育班**：平成25年度の卒後教育班の活動は、新プロ（C-3）でも登録できますが、専門・認定理学療法士取得のポイントとなる研修会で、「リスク管理研修会」と「問題解決に関わる研修会」です。「リスク管理研修会」は8月25日（日）に熊本リハビリテーション病院本館2F地域交流ホールにて開催いたします。多くのお申込をいただき、現在準備に追われています。よき学びが提供できるように班員一同頑張ります。「問題解決に関わる研修会」は10月20日（日）に決定しました。協会HPにて情報発信いたしますので、是非多くの方のご参加お申込、よろしくお願ひ致します。

◎**臨床実習教育班**：臨床実習教育班は、第8回臨床実習教育研修会を、6月30日（日）に熊本保健科学大学にて麻生リハビリテーション学校より松崎哲治先生をお招きし、「最近の学生との向き合い方～情意領域の指導方法について～」というテーマで行ないました。県外のPTも含め53名の参加があり、最近の学生の傾向や、養成校取り組みなどエピソードも交えながらお話しいただきました。アンケートの結果も概ね良好でした。次年度の講師選定も終わり、準備

に入っております。次年度もぜひ多くのご参加をお待ちいたしております。

さて！「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設1部の配布ですが、PDFにて熊本県理学療法士協会ホームページ（<http://www.kumamoto-pt.org/>）お役立ち情報のページよりダウンロードできますのでぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力でこの手引きを育てていきましょう。

◎**管理・運営教育班**：管理者教育カリキュラム（第1ステージ）が6月20日（木）に開講しました。大阪、広島、福岡、長崎、宮崎、鹿児島からも参加いただき、20名でスタートしました。熊本大学の吉田道雄教授のグループ・ダイナミックスに始まり、熊本市保健所岩崎浩思先生の医療安全・院内感染、公益社団法人日本理学療法士協会副会長の小川克巳先生にリハビリテーション関連職種の歴史的背景についてそれぞれお話しいただきました。今回は8月15日、16日に第2クールが行なわれます。良い準備をして良い学びが提供できるように頑張っておりますのでよろしくお願ひ致します。

もちろん第2ステージについても検討中です。皆様からも、ぜひ受講したいという項目等ございましたら、どしどしご意見下さい。

☆教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き（第5版）を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私（前田）[rptmaeda@yahoo.co.jp](mailto:rptmaeda@yahoo.co.jp)までご連絡下さい。

厚生部

部長 藤原 慶太

平成 25 年 6 月 15 日に新卒者研修会を開催いたしました。

例年、火の国ハイツで開催していましたが、今回は研修会、懇親会をそれぞれ九州中央リハビリテーション学院とホテルニューオータニ熊本で開催し、懇親会では会場運営などでこちらの不手際がありました。参加者の皆様に大変なご迷惑を掛けてしまいました。お詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

さて、参加者の内訳ですが、研修会参加者が 226 名、懇親会参加者が役員・理事の方々が 28 名、新人の方々が 84 名、計 112 名の参加となりました。

来年度の新卒者研修会については未定ですが、日時が決まり次第、報告させていただきます。関係各部の皆様方にはご協力の程をよろしくお願いします。

事業部

部長 保田 佳史

こんにちは、事業部の保田です。

7 月 28 日（日）南部総合スポーツセンターホールにて第 11 回くまもと『PT あ！（ピタ）』つと健康講座を開催致します。今年は熊本城マラソン 2 連覇でご存知の方も多し地下翔太さんをお迎えし講演頂きます。当日はトレーニング方法や実際に走って頂く時間も設けますのでぜひこの機会に運動をはじめて健康増進に励んでみませんか？

日 時：平成 25 年 7 月 28 日（日） 14 時～16 時

場 所：南部総合スポーツセンター 中体育館

テーマ：健康ランニング

講 師：地下翔太選手

参加費：無料

準備物：上履き、運動靴、

動きやすい服装、飲み物



# 学会・研修会のお知らせ

平成 25 年度

理学療法士講習会基礎（理論）

『内部障害の理学療法の

進め方の基本』

今回は循環器疾患講師として、日本心臓リハビリテーション学会の副理事長であり、心臓疾患患者へのリハビリの開発活動や資格認定講習会講師を担うなど、日本の心臓リハビリテーション分野を牽引されている 東京工科大学医療保健学部 高橋哲也 教授 をお招きします。

## 【講習会内容】

循環器疾患や呼吸器疾患、代謝疾患(糖尿病)を、主疾患もしくは合併症(併存症)や既往症に持つ患者に対する理学療法を進める際に必要とされるフィジカルアセスメントやリスク管理について教示します。

記

日 時：平成 25 年 10 月 6 日（日）

受付開始 9:00～終了予定 16:40

場 所：九州中央リハビリテーション学院

〒860-0821

熊本市中央区本山 3 丁目 3-84

講 師：循環器 高橋哲也 氏（東京工大）

呼吸器 筒井宏益 氏（江南病院）

代謝 原口真由美 氏

（熊本セントラル病院）

定 員：100 名(先着順)

受 講 費：会員 2,000 円 / 非会員 10,000 円

申込期間：平成 25 年 7 月 22 日(月)

～9 月 21 日(土)

・・・ 参加申し込み・問い合わせ ・・・

申込方法：日本理学療法士協会 HP マイページからお申込下さい。当日は会員証を忘れずにお持ち下さい。

問合せ先：江南病院リハビリテーション科

筒井宏益

E-mail：[nakagawaseikeirih@yaho.co.jp](mailto:nakagawaseikeirih@yaho.co.jp)

# 大 観 望

『これまでの IT 事業部とホームページへの思い入れ』

IT 事業部部長  
熊本保健科学大学  
岩下 佳弘

熊本県理学療法士協会も公益法人となり、今は組織再編に向けて急ピッチで作業が進んでいるようです。IT 事業部は他の部と統合され、より効率的に運営される方向に進んでいると思います。そこで、今回はこれまでの IT 事業部の歴史について書いてみます。

私は IT 事業部がまだ委員会だった頃から関わらせていただいております。それまでも熊本県理学療法士協会のホームページはありましたが、個人（確か楠本先生（熊本県子ども総合療育センター）だったと思いますが、間違っていたらすみません）がボランティアで作られて運営されていたもので、情報収集から更新まで大変なご苦労があったと伺っています。そのような中、インターネットのインフラも進み、パソコン所有者数も増加してきたころに大島先生（熊本県理学療法士協会副会長）と河波先生（当時、済生会熊本病院）が音頭を取って、丸山先生（当時、熊本セントラル病院）のホームページ作成技術を使ってリニューアルされました。当時の委員長であった河波先生は、ホームページを情報交換の場やケーススタディーの場としての活用も考えておられました。しかし、アンケート調査では、まだ職場や家庭でパソコンやインターネット環境が十分に整っておらず、ホームページと紙媒体の両方を使って情報を発信していました。ホームページの内容は各部からのお知らせや他協会や団体からの講習会等のお知らせがメインで、先生方が考えられていた活用とは少し違っていたのではないかと思います。私が引き継いだ後、県学会用ホームページのシステムを渡久山先生（西日本リハビリテーション学院）の手を借りながら立ち上げました。また単なるテキストデータを貼り付けただけのものから、よりシステム化されたホームページを目指してきました。幸いなことに特別委員会が組織され、2年の歳月をかけて今のホームページへ移行されることとなりました。システムとしては、だれもが満足いくというものではないかもしれませんが、各部や他団体からのお知らせをメールに配信してくれるシステムや書類をホームページから提出できるシステムなどは結構便利だと思っています。インターフェイスはもっと洗練されていく必要があるかもしれません。公益法人に生まれ変わったからには、一般に向けた情報が目にもわかりやすく掲載される必要があるだろうと思います。ホームページはやはり協会の顔の一部だろうと思いますので、市民にも理学療法士にも、情報を受け取る側にも情報を更新する側にも両方にとって使いやすい、わかりやすいホームページシステムになればと思っています。

『患者と話をするということ』

学術部部長  
熊本機能病院  
今屋 将美

私は患者と接するとき、ある程度信頼関係がつくれたタイミングで、病態や症状について改めて伺うことがある。そうすると看護記録などに記載されているよりもはるかにリアリティのある、具体的なエピソードを切々と語ってくれる患者がいる。その内容は、我われの想像をはるかに超える痛みや日常生活の困難、そして時には精神的に抱える悩みや苦しみといった、心のうちを明かしてくれることもある。患者によっては、発症、発病をきっかけに家族関係が破綻し、自分を責める人もいる。私はそんな奥深くに抱える気持ちを教えていただく患者に敬意を払い、しっかりと聞いて心に刻むようにしている。このように相手を深く聞く行為は、我々の治療する姿勢を大きく変えてくれると思っている。理学療法評価として、データや文字に起こせる情報と、そうでない相手の心の根っこにある気持ちや思い。どちらも情報である事には変わりないが、持っている意味が違う。我々が患者を治療する上で、相手の気持ちを共有し、共感することはとても大きな意味を持つと最近強く感じている。しかし患者は誰にでも同じ情報を与えてくれるわけではない。聞き手の年齢、性別、家族環境、職業年数、性格、態度など様々な要素を感じ取り、話せる範囲を決めている。私自身、理学療法士として十数年経験した今だからこそ、患者と話せる内容があると思っている。時には、誰も知らないような大切なことを知ってしまうこともあり、そんな時は責任を感じるが、相手との関係はこれまでとは明らかに変わる。

若いセラピストは目の前の患者を大切に思い、相手の心のうちを自ら話してもらえよう、 「人」になれるように臨床に真摯に向き合っていると願う。そういう心構えが我々の仕事を何倍も充実させる。理学療法の知識、技術を高めるのと同様に、充実した人生経験を積み、相手に信頼してもらえる誠実さを身につけることも重要な職務であると思う。素晴らしい職業に就けたことに改めて感謝し、これからも目の前の患者を大切に臨床に励んでいきたい。





# 事務局だより

(公社) 熊本県理学療法士協会 事務局  
〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-35  
TEL/FAX 096-389-6463  
Eメールアドレス kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp  
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

## 会長行動録

- 5/1 熊本市介護認定審査会  
:熊本市健康センター新町分室
- 5/8 日本プライマリ・ケア連合学会第9回九州支部総会・講習会実行委員会:熊本県医師会館
- 5/14 医療保険連絡会議:熊本機能病院
- 5/15 熊本市介護認定審査会  
:熊本市健康センター新町分室
- 5/17 熊本市ブロック北地区会議:熊本機能病院
- 5/19 第3回理事会・第1回総会  
:熊本総合医療リハビリテーション学院
- 5/20 熊本県高次脳機能障害検討委員会  
:熊本大学附属病院山崎記念館
- 5/28 九州理学療法士・作業療法士合同学会実行委員会  
:九州中央リハビリテーション学院
- 5/30 医療保険診療研修会:熊本市食品交流会館
- 6/5 熊本市介護認定審査会  
:熊本市健康センター新町分室
- 6/5 第4回理事会  
:熊本総合医療リハビリテーション学院
- 6/6 法人事業審議委員会  
:熊本総合医療リハビリテーション学院
- 6/8 日本理学療法士協会定時総会:東京都
- 6/11 保険診療連絡会議  
:熊本託麻台リハビリテーション病院
- 6/12 藤川県議議長就任祝賀会:ホテルキャッスル
- 6/13 組織検討特別委員会  
:熊本総合医療リハビリテーション学院
- 6/15 新人・役員懇親会(親睦会)  
:ホテルニューオータニ熊本
- 6/15 新卒者研修会:九州中央リハビリテーション学院
- 6/19 熊本市介護認定審査会  
:熊本市健康センター新町分室
- 6/20 管理者教育カリキュラム:熊本保健科学大学
- 6/25 介護保険診療研修会:熊本市食品交流会館
- 6/29 組織検討特別委員会  
:熊本総合医療リハビリテーション学院
- 6/30 臨床実習教育研修会:熊本保健科学大学

## 会員数(H25. 6. 30 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 175 名

ブロック名	施設数 ( )内の自宅会員数を 含んでいます。	会員数
熊本市	283(76)	1334
県北	72(15)	214
八代	77(12)	261
天草	45(7)	92
県南	20(2)	45
合計	497(112)	1946

## 掲示版

### ■ 異動・休会・復会・退会等の手続きについて

原則として、平成25年度よりWeb申請にてお手続きをお願いしております。

※日本理学療法士協会ホームページのマイページ登録をお願いいたします。

また、県外異動・入会・休会・復会・退会に関しては、熊本県理学療法士協会書式による書類の提出が必要です。尚、書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。ご活用下さい。

ご不明な点は事務局までご連絡下さい。

### ■ 会員専用ページログイン申請のお願い

情報の発信・共有のため熊本県理学療法士協会ホームページの会員専用ページへのログイン申請をお願い致します。ログイン申請はホームページの「会員ログイン」からお手続きください。

### ■ 平成25年度会費納入について

楽天カード・自動口座振替ご利用の方は、6月27日に口座から引き落としになりました。楽天カードご利用明細または預金通帳でご確認をお願い致します。口座引落とし以外の方は日本理学療法士協会より送付されるコンビニ・郵便局用の払込票にて、記載された期限までに納入して頂きますようお願い致します。

### ■ 会費納入用楽天カードのお申込のお願い

会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」(年会費無料)へのお申込をお願いします。楽天カードへのお申込は日本理学療法士協会ホームページの会員専用ページからお手続き下さい。

# 学術事業部文献紹介

## 『 新生児理学療法 』

編集 大城昌平／木原秀樹  
メディカルプレス

本書は、編者をはじめとする新生児医療の分野で活躍されている医師、看護師、理学療法士、作業療法士の方々より執筆されています。近年の発達神経学からみた新生児の発達理論、理学療法を実施する上で理解しておくべき新生児の疾患とその医学的管理、発達ケア (developmental care : DC) を中心とした看護ケア、発達評価において理解しておくべき評価の理論と方法、そして理学療法ケアのプランニングとその実際、また親子の関係性への介入や発達フォローアップ、さらに事例の検討というように、多岐にわたる豊富な内容となっています。

### 【主な内容】

- 序 章 総論
- 第1章 胎児・新生児の発達
- 第2章 早産児・新生児の医学的管理
- 第3章 早産児・新生児のケア
- 第4章 発達評価
- 第5章 早産児・新生児に対する理学療法
- 第6章 ハイリスク児のフォローアップ

それぞれの章ごとに、沢山の図と写真を酷使して解説されていて、わかりやすく、赤ちゃんや子供の理学療法を担当される方は臨床で役立つと思いました。編者は、新生児理学療法に携わっている理学療法士をはじめ、これから新生児理学療法に携わる新人理学療法士、さらにその学生を主たる対象として編集したのですが、新生児医療に携わる医師や看護師、作業療法士などの方々にも参考にしてほしいと述べておられました。

(文責 高橋秀一)

## 『 運動療法に役立つ単純X線像の読み方 』

著者 浅野昭裕 監修 青木隆明  
発行社：メジカルレビュー社

画像技術は日々進歩を続けていきますが、単純X線像はまだ臨床でよく用いられている画像所見です。しかしながら理学療法士に向けた書籍はほとんど見当たりません。本書はその領域に一石を投じており、著者は、単純X線画像から受傷機転を元に損傷組織を把握し、それらが運動療法にどのような影響を及ぼすのかを探求し続けた結果として本書を発行しております。

本書の内容としては、単純X線像の基礎知識から、固定状態、軟部組織の状態を読み取るといった総論から、各四肢関節の骨折・脱臼を中心とした各論が詳細にまとめてあります。また、著者は「絵の描き方」を知ることで画像を読む能力は向上すると述べており、骨同士的位置関係・形状を詳細にレクチャーしております。このような点からも、経験者から学生まで幅広い層に一読してもらいたい書籍となっています。

(文責：矢田順治)





# 学会・研修会印象記

『第 48 回 日本理学療法学術大会』

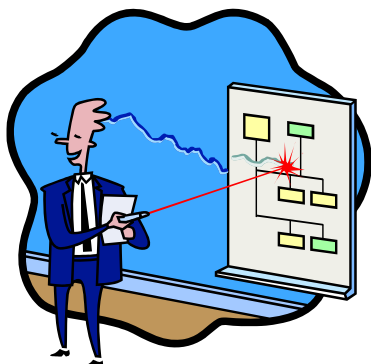
In 名古屋に参加して』

熊本リハビリテーション病院 古澤 良太

「グローバル・スタンダード」をテーマに名古屋国際会議場で開催された、第 48 回日本理学療法学術大会に参加させて頂きました。次大会を最後に理学療法学術大会は各分科会に分かれての開催となります。今回の学術大会では口述発表およびポスター発表の 1607 演題、シンポジウムやランチョンセミナーなど多くの発表や取り組みが企画されており、各分野の教育・研究・臨床のグローバル・スタンダードを再考する良い機会になったと感じました。

今回、私は「高次脳機能障害を有する左片麻痺患者の安定した立位保持獲得への取り組み～自己教示法を用いた運動維持困難へのアプローチ効果～」の演題名で発表しました。次演者席で待機し、次はついに自分の番が来ました。そっと後ろを見ると会場は満員、立ち見までいる状況、さらには有名な先生方の顔が見え、圧倒されてしまいました。私はあまり緊張しない方なのですが、こんなに緊張することがあるのかと思いました。しかし、ここは尾張の国、名古屋。桶狭間の戦いで勝利した織田信長も当時は自分と同じ 27 歳。「織田信長は俺よりも緊張していたはずだ！まだ大丈夫だ。」と自分自身に自己教示し、登壇しました。自己教示もさることながら職場の上司・先輩・後輩の前で、何度も何度も発表の練習を行っていたため、落ち着いて発表することができました。質疑応答では千里リハビリテーション病院の吉尾雅春副院長から細かな脳の機能解剖を踏まえたご指摘をいただき、自分のアプローチはまだまだグローバル・スタンダードへは程遠いと感じました。

今回の大会を通して学んだことや、エビデンスに基づく治療を実践し、グローバル・スタンダードへ近付けるよう取り組んでいきたいと考えています。



『理学療法士講習会(応用編)に参加して』

熊本機能病院 市原 翔太

7 月 6～7 日に熊本保健科学大学にて開催された理学療法士講習会(応用編)に参加しました。今回の講習会は関東労災病院より園部俊晴先生、今屋健先生の両先生方を講師として招き、「下肢疾患の理学療法～局所機能のつくり方と運動連鎖の応用の仕方～」のテーマの下、講習が行われました。

初日は今屋先生による「膝関節を中心とした局所機能再建に関わる理学療法の考え方と治療」についての講義が行われました。膝関節の機能解剖から徒手検査に基づく膝タイプの見極め方、各疾患に対する治療についてなど、基本的な知識からより応用的な内容を実技を踏まえて分かりやすく説明して頂き、日頃抱えていた臨床での悩みを解決する手がかりとなりました。今屋先生のお話の中で「機能解剖の理解と臨床経験の融合が大切」というお言葉を頂き、改めてより基本的な知識の整理と日頃の臨床経験を大切にしないといけないと感じました。

翌日は園部先生による「下肢疾患の理学療法、運動連鎖の応用の仕方」について講義が行われました。運動連鎖を応用するための基礎知識、評価方法、治療手技についてのお話でした。運動連鎖のメカニズムは日頃臨床で動作分析に悩んでいる私にとって難しい内容でしたが、分かりやすく噛み砕いて説明して頂きとても理解を深めることができました。運動連鎖を応用するための評価・治療では実技を中心に進み、治療前後における歩行の変化は、聴講者一同が驚くばかりでした。治療手技も臨床経験の少ない私でも実践できるような内容であり、日頃の臨床に活かしていきたいと思いました。初日の講習会後には懇親会が催され、講義では何うことが出来なかったことや、臨床についての考え方、人生観など様々なお話を聞くことが出来ました。また受講生同士で情報交換もでき有意義な時間を過ごせるとともに、今後の刺激にすることができたと思います。

この 2 日間の講習会を通し改めて機能解剖、運動学などの基礎的な知識をしっかりと理解することや、臨床の中での経験を大切に、学んだことをしっかりと活かしたいと思いました。来年、再来年も講習会は続くということなのでぜひ参加したいです。今後も「学び続ける」ことを忘れずに、両先生のような臨床家になることが出来る様、精進します。

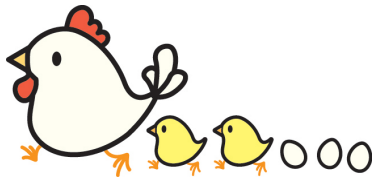


# 第1回新人研修会印象記



## 西日本病院 神田 直斗

今回、第1回新人研修会に参加させて頂き、社会での理学療法士の位置づけや役割、また協会の主な活動内容など学ばせて頂くことが出来ました。特に理学療法士として社会との関わりについて考えさせられました。現在、社会の中での理学療法士の認知度は高いとは言えず、今後更に認知度を高めていかなければならないと改めて学ばせて頂きました。現在入職し約三ヶ月経ちましたが知識・技術の向上、また社会人として多くのことを成長していかなければならないと日々感じています。今後患者様のため力になれる理学療法士を目指し向上心を持ち日々努力していきたいと思えます。



## 西日本病院 菊池 健斗

第1回熊本県新人教育プログラムに参加させて頂きました。先生方から倫理、法規、生涯学習システム、理学療法士の社会的な立場などの講義を受け大変貴重な経験をさせて頂きました。理学療法士として約3ヶ月が経ち徐々に日々の業務に慣れつつあるなかで、多様化していくニーズに対応するため常に成長していかなければならないことを今回の研修会で学ぶことができました。そしてニーズに対応するために知識、技術を向上しさらに認定療法士など専門性や質を高めることで理学療法士の社会的な安定を得られることを知りました。様々な患者様に適切なプログラムを提供するため、また理学療法士という職の拡大、安定化のためスタートラインに立ったばかりの私がまずできることは、患者様一人一人と向き合い生活の中で本当に必要なリハビリを行っていくことだと思えました。今回の研修会を通して学び感じたことを生かし、今後も努力を重ねていきたいと思えます。

## 介護療養型老人保健施設ゆずりは 後藤 隆幸

今回、第1回新人研修会に参加させて頂きました。研修会では生涯学習システムにおける新人教育プログラムの概要、理学療法士協会・理学療法士連盟、公益・共益事業内容について学ぶことができました。その中でも理学療法士として常に自己研鑽するための生涯学習システムについては、このような制度を活用しつつ新人理学療法士としての基本姿勢や資質向上を念頭に入れ、自発的な学習の継続をしなければならぬと考えております。また、理学療法士を目指す学生から一人の社会人としての理学療法士としてスタートを切った私たちにとって、理学療法士がなければならぬ職種として社会に認知されていくのか、そのためには目の前の患者様・利用者様のリハビリテーション以外にどんな行動をすべきなのか、を考えることのできる良い機会となったと感じております。これから、専門職である理学療法士として知識・技術・経験を高めていけるよう日々学びを深めていきたいと思えます。

## 武蔵ヶ丘病院 高木 愛花

今回、第1回新人研修会に参加させて頂き、協会の組織や生涯学習システムなど様々な講義を受講させて頂きました。その中で最も印象に残った事は、「理学療法」を政治も含め全体的に捉えなければならぬということでした。より良い職場環境で働く為には、いかに患者様を支援するかを考えるだけではなく、現場のセラピストの声を医療制度に反映させる為にも、理学療法士自ら積極的に働きかけていかなければならぬと感じました。また、この研修会で学んだ事をこれからの臨床で活かし様々な研修会などに参加し、知識・技術の向上に努めて行きたいと思えます。そして、礼儀・感謝の気持ちを忘れずに、医療人・社会人として向上心を持ちながら、より良いサービスを提供出来る理学療法士になりたいと思えます。今回の研修会に携わって頂いた先生方に御礼を申し上げます。今後ともご指導いただけますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

### 熊本機能病院 藤山 徹

研修で北里会長をはじめ多くの先生方の講義を聴き、改めて理学療法士の一員としてスタートしたのだと実感する事が出来ました。研修会では熊本県理学療法士協会の成り立ちや役員の仕事内容について知る事ができ、理学療法士として臨床だけでなく、社会へ貢献する事への大切さを知る事が出来ました。私個人としては理学療法士として働き始めて約3ヶ月が経ち、まだまだ分からない事も多く勉強の日々です。その中で患者さんと関わる機会が多くなってきている今、今回改めて理学療法士として患者さんに対し、全力で貢献したいという強い気持ちを持つ事が出来ました。理学療法士という職業は年々増加しており、これからは個々の力を強くしていかなければいけない時代であると感じます。そのために日々進歩していく医療の知識・技術向上のために研修会に積極的に参加し、職場の同期、学校の同級生である仲間達と日々切磋琢磨し合い、全力で業務に取り組んでいきたいと思えます。

### 熊本機能病院 前田 徹

今回、第1回熊本県新人研修会に参加させて頂きました。理学療法士協会の制度や取組、生涯学習システム等について学ばせていただき、社会における理学療法士について認識を深める機会になりました。また公益・共益事業を通して医療・保健・福祉の向上に寄与するという目的に沿って活動していくことに、多岐にわたる方法で社会に理学療法を還元できるのではないかと思いました。

そのためには、医療人として研鑽を積み、理学療法の実践のために日々努めていかなければいけません。幸い、私たちには生涯学習システムが用意されており、必要な知識や技術を習得できる環境が整えられています。また、臨床経験豊富な先輩セラピスト方が多くいること、研究に主眼を置き将来の患者に多大な貢献を果たす方がいることが何より私達を支えてくれています。このような恵まれた環境下で切磋琢磨し、一理学療法士として社会に貢献できるように、生涯続く道のりを進んでいきたいです。

### 桜十字八代病院 村岡 あゆみ

今回、新人研修会に参加させて頂き、熊本県理学療法士協会の役割や理学療法士としての在り方等を学ぶことが出来ました。何事に対しても「なぜ？」と思うことが大切であると講話の中にもありましたが、日々進化する医療の世界で重要なことだと改めて感じる事が出来ました。まだまだ理学療法士としても社会人としても未熟な私も、患者様の前に立つと一人の理学療法士として見られます。同じ職場の理学療法士の方々と比べて専門知識も少なく、分からない事ばかりで先輩方に頼ってばかりですが、一人一人の患者様と真剣に向き合い、熱意を持って理学療法を提供していきたいと思えます。

私は、これから新人プログラムを終了させた後、専門分野に進みますが、学生時代から目標としている“患者様の心からの笑顔を引き出すことの出来る理学療法士”になれるよう、日々進化する医療の現場で進化・改善し続けていけるように精進して参ります。

### 九州記念病院 村上 一輝

今回6月に実施された第1回新人研修会に参加させて頂き、これから理学療法士として活動していくにあたり必要となる専門職としての倫理感や学術・技能の向上等 協会組織の理解と生涯学習を通じた自己研鑽の必要性をしっかりと認識させて頂きました。

臨床の場で実際に日々の業務を進めて行く中で特に強く感じる事は、新人セラピストであっても担当する患者様々にはそれは関係ないという事です。その為には自己の知識・技術・経験を積極的に自ら学び、資質を向上させ社会的行動に尽力を可能な限り尽くして行かなければならないという事です。今後は新人研修プログラムを通じ、自己研鑽に努めながら社会貢献できる理学療法士になりたいと考えております。





## 天草ブロック

## 水田 順司

梅雨の時期特有のジメジメとした天気が続いておりますが、皆様におかれましてはお元気にお過ごしでしょうか？私は6月末に家族皆で風邪をひきまして、改めて体調管理の大切さを自覚したところです。梅雨が明けますと天草でも海のレジャーが盛んになります。皆様も是非遊びに来てください。

さて、天草ブロックからの活動報告です。5月10日(金)に平成25年度の最初の活動となります全体会議と第1回の定例勉強会を開催いたしました。また、私のブロック長の任期が今年までとなりますので、次期ブロック長選挙も開催いたしまして、現副ブロック長の立川先生が次年度よりブロック長として活動していただきます。皆様もご協力をお願いいたします。



また同日開催いたしました第1回の定例勉強会では3月に開催した3年目の先生方の発表の続きとしまして、テーマを「関節可動域制限に対する臨床での推論過程」と題しまして、吉田雄矢先生には「遠位脛骨腓骨骨折“背屈制限に

対して”」、櫻井祐輔先生には「滑膜切除手術後のROM改善について～軟部組織に着目して～」、金棒美喜先生には「膝関節伸展制限を呈した症例について」、鶴長建太郎先生には「変形性膝関節症による可動域制限」について各々の推論過程を述べながら写真や動画を活用していただき、症例報告を行っていただきました。日頃の臨床を振り返りながらまとめるという作業は、今後の治療にもつながるものとなりますので、参加者以上に勉強になったのではないかと思います。

6月14日には第2回定例勉強会を開催し、25名の先生方に参加していただきました。今年度は年間テーマを「脊柱」とし、その導入編として天草ブロック学術部長の井上智博先生にお願いして、テーマを「脊柱-デモンストレーション」と題しまして講義と治療についてデモンストレーションを交え行っていただきました。これからの治療につながる新しい考え方を紹介していただき、皆様にも有益な勉強会になったのではないかと思います。



## 県北ブロック

## 浦上 洋純

梅雨入り後から連日蒸し暑いですね。私の職場では節電対策によりエアコンの我慢大会となりつつある今日この頃、会員の皆様は如何お過ごしでしょうか？

さて、去る5月29日に第1回地区責任者会議を行い、本年度の体制の確認と当ブロックの活動内容及び卒後教育研修に関する情報提供等を行っております。

次いで6月2日には荒尾市総合文化会館にお

いて、公益事業のひとつである荒尾市民健康福祉まつりが開催されました。当ブロックからは荒尾地区の先生方が参加されました。



私も少し見学させていただきましたが、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の合同コーナーが設置されており、当協会のブースでは握力や体前屈、棒反応等があり、人・人・人でごった返しており、予想以上の盛況振りに驚かされました。

また他のブースも手話サークルであったり歯科等、多数あって何処も賑いをみせ、地域の方の健康への意識・関心の高さを実感しました。同時に、私たちの職種をアピールする絶好の場でもあり、今後是非続けていくべき事業だと思いました。

最後にご担当いただいた荒尾地区の先生方、お忙しいなか本当にお疲れ様でした。



## 県南ブロック

## 藤井 崇浩

患者様の言葉から。「自分がいつも使っている湯呑みにいい言葉があるんです。せんだみつおさんが作った詩です。」と言われたので、私の頭の中では、例のポーズで「ナハッ！ナハッ！」とやっているせんだみつおさんが浮かん

で笑いそうになりましたが、きっとマルチな才能を発揮されているのだと思い、我慢しておりました。どんな言葉か聞くと、「『しあわせはいつも じぶんの ところが きめる』と書いてあるんです。」と仰る。いい言葉だなと思いつつ、どこかで聞いたことがあるような……。賢明なくどけい読者の皆さまはお気づきでしょう。「せんだみつお」さんではなく「相田みつを」さんの間違いでした。単なる笑い話になりますけれど、患者様もそのような言葉に出会われ、それを待みにしていच्छることから、言葉の大切さを改めて感じました。

シドニー五輪女子マラソンで金メダルを獲得した高橋尚子さん。無名時代に当時の小出監督から教えられた「花の咲かない寒い日は、下へ下へと根を生やせ」という言葉に、なかなか良い結果が出ない高橋選手は勇気づけられたと話しています。

私は心の琴線に触れた言葉を、ノートに書き留めるように心がけています。それが自分を励ましたりするのに役立つのはもちろん、患者様やスタッフ、学生指導にも活かしております。最初は借り物の言葉であっても、使用する頻度とインプットの量が増えるにしたがって、自分の言葉になっていったりオリジナルの言葉が生まれたりすることもあります。皆さんも心に響いた言葉やセリフを書き留め、日々の診療に活かしてはいかがでしょうか。

さて、県南ブロックでは6月に勉強会を開催致しました。水俣市立総合医療センター新穂PTの担当で、「腰部脊柱管狭窄症」がテーマでした。解剖生理から薬物治療・手術、理学療法に至るまで、幅広く講義していただきました。診療で接することが多い疾患であるため、質疑応答も活発でした。新穂PT、ありがとうございました。7月5日には、毎年恒例の水俣芦北地区のPT・OT・ST合同懇親会が開催され、30人以上の会員が集まり貴重な情報交換の場となりました。参加された方、ありがとうございました。来年も皆様のご参加を、お待ちしております。

# 理学療法士会 広島 便り

## 『自立した個人として対話しよう』

20年くらい前から、研修や学会で断続的に海外に出かけている。ヨーロッパのある国々が多いが、最初に行った時から、それらの国民の振る舞いを見ていて、ある奇妙な感覚にとらわれていた。うまく説明できないが、特に子供や若者が「ちゃんとしている」というか「しっかりしている」というか、妙に「大人びている」のだ。たとえば、ドイツやイギリスで理学療法士の養成校を視察したとき、最初は授業中の学生の「ふざけた態度」がとても気になった。授業中、ファーストネームで教員を呼び、足を組んで椅子にふんぞり返ったまま質問する。しかし彼らは全員、教員の話真剣に聞いているし、寝ている者などいない。ノートの取り方も抜群にうまい。

一般の市民生活においても、さまざまな場面でこれと類似した状況によく出くわした。イタリアやフランスの観光地を歩いていると、遠足か社会見学とおぼしき小学生の集団によく出会う。みんなオシャレな服装で、中にはピアスをしている子もいる。日本ならば、学校に集合した時点で家に帰されているだろう。列をなして談笑しながら歩く光景は日本と変わらないが、子ども同士の「馴れ合い方」が明らかに違う。ベタベタあるいはグニャグニャしてふざけている子どもがいない。そして、歴史スポットや美術館で引率の教員が説明を始めると皆、熱心にその話を聞き始める。またレストランに行っても、日本のように食事が終わって退屈し、騒いだりフロアを走りまわったりしている子はまずいない。第一、幼稚園児のような小さな子どもを目にすること自体が少ない。

先日長期の共同研究に行っていた同僚が帰国した。「どうだった？」と聞くと、「研

究は順調に進んだけど、それとは別の勉強になった。そっちの方が悩ましかった」と言う。よく話を聞くと、彼の「悩ましさ」は冒頭で述べた私の「奇妙な感覚」とほとんど同じものだった。日本の学生は「大学に入ると勉強をしない」「実習や就職で困った問題が生じても独力で解決できない」といった問題が指摘されて久しい。2人の結論は「それらは人間の“自立”の意識に関わる同根の問題だ」であった。またそれは、彼らを育てた我々と社会全体の問題ではないかとも。

ここ数年、医療に関わる政策や政治への関心を持つことの重要性を会員諸氏に訴える機会が多かった。しかし、それらに対する反応ははっきり言って希薄で、参加し、対話し、共感し、行動してくれる会員はいつも限られている。それなのに診療報酬の改定に関する研修会を開催すると会員が多く参加する。しかし、改訂内容の説明が終わると彼らの多くはさっさと席を立つ。役員が「目の前の改定が問題ではありません！ 続きがあるのでこのまま残って下さい！」と訴えているのに…。自分たちの代表を国政に送り出すなどという以前の問題だと思ふ。自分たちの職業や生活を確立・保証するためには、「自立した個人としての対話」から始める必要がある。

最近、日本理学療法士協会のニュースやホームページで、協会長が頻繁に「地域包括ケアと理学療法」の問題について触れている。世界に類を見ない高齢化および少子化の社会保障の問題を政府や官僚は“国難”と捉えている。近い将来おそらく、今の私たちが想像できない医療システムの変更が診療報酬の大幅な改定を通して行われるだろう。それを「誰かが何とかしてくれる」というのは幻想だと断言していい。

ではどうすればいいのか。私は、こちらからの情報発信と呼びかけに対し会員諸氏に積極的に参加していただいたうえで、それについて「自立した個人として対話しよう」と、声を大にして呼びかけたい。時間的余裕はあまりない。

(広島 No.226 より抜粋)



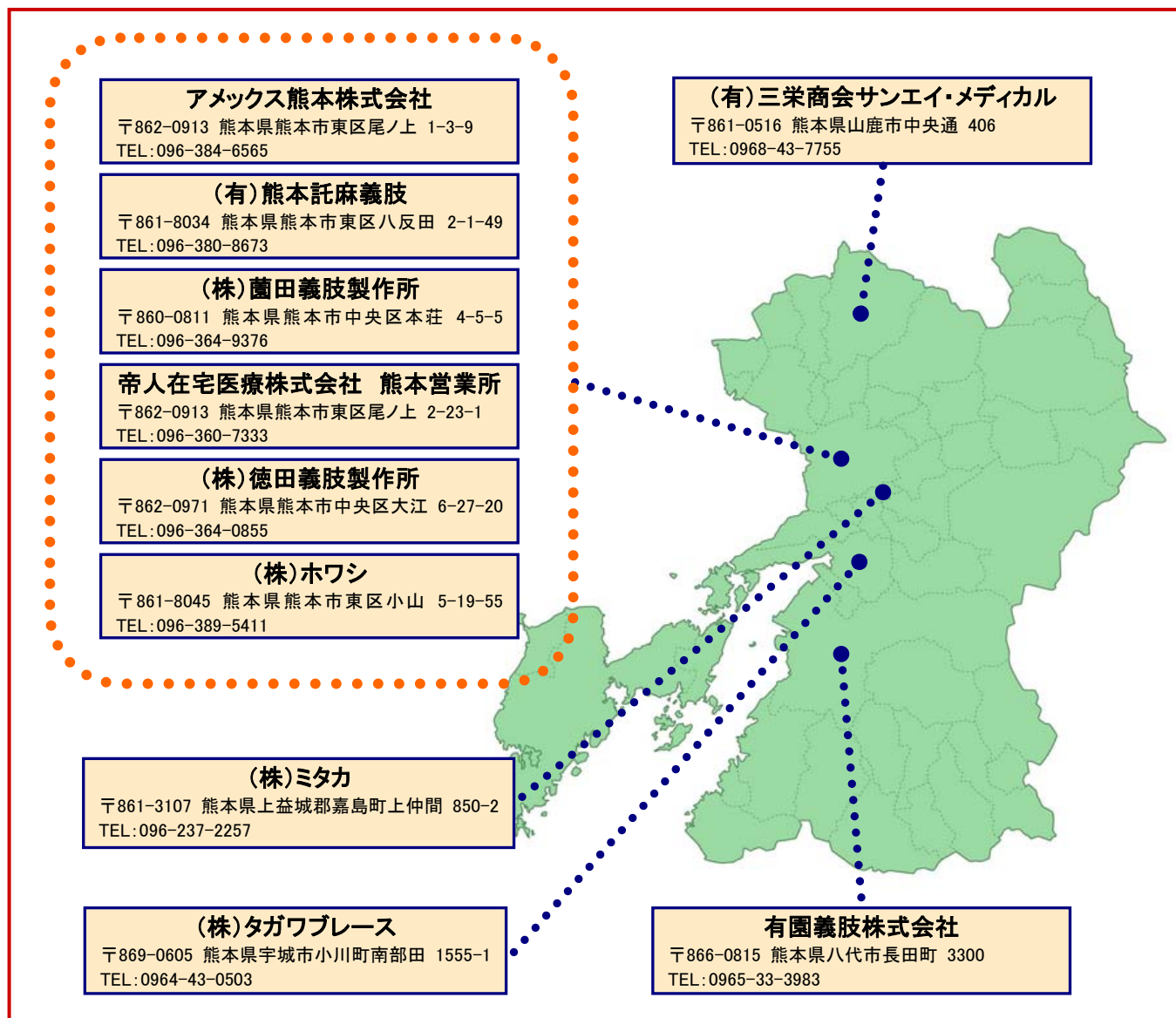
# PT Walker くまとの理学療法情報 熊本

賛助会員とは、(公社)熊本県理学療法士協会の目的に賛同し、この協会に対し育成、援助を図る個人又は団体のことです。

平成 25 年 6 月 30 日現在、当協会活動の趣旨に賛同し協力頂いている団体、企業は 10 社となっています。その全ての賛助会員の所在は熊本県内（下図参照）であり、医療・保健・福祉の分野に関して専門的な知識や技術を有しています。例えば、介護が必要になった方やそのご家族様が快適な毎日を過ごすために必要な住宅改修、福祉用具の購入・貸与（レンタル）サービスや、病気・怪我などで手や足など身体の一部を失った方が、その機能を補うために使用する義手や義足、装具などの製作、血液中の酸素が不足している方が、ご自宅など病院以外の場所で不足している酸素を吸入する在宅酸素療法における機器製品管理、サービスを行っています。

我々理学療法士にとっても施設や在宅でのリハビリテーションを行う上で欠かすことのできないパートナーであり、様々な場面で協働し患者さまや利用者さまにより良いサービスを提供しています。

今回より 5 回シリーズで、(公社)熊本県理学療法士協会の賛助会員を紹介します。



# 医療・介護お役立ち情報

このページでは理学療法士協会が主催して行なった研修会より、市民の皆様方に医療・介護で役立つ情報をお伝えします。

第2回目は「廃用症候群を予防するには？」をお送りします。

## 廃用症候群を予防するには？

前回は、廃用症候群が起こるきっかけや起こりうる症状をご紹介しました。今回は、それらを予防するための方法をいくつかご紹介します。

症状	説明
廃用性筋萎縮（きんいしゆく）	筋肉がやせおとろえること
関節拘縮（こうしゆく）	関節の動きが悪くなること
起立性低血圧	長く寝た後、急に立ち上がるとふらつく
心機能低下	心拍出量（1分間に拍出する血液量）が低下する
廃用性骨萎縮	骨がもろくなること
誤嚥性（ごえんせい）肺炎	食べ物が誤って肺に入ることが原因の肺炎
褥瘡（じょくそう）	床ずれといわれる皮膚のきず

### ●寝たきりや体を動かさないことにより筋肉が萎縮

特に高齢者では、知らないうちに進行し、気がついた時には「起きられない」「歩くことができない」などの状況が少なくありません。廃用性筋萎縮や関節拘縮は、やはり横になる時間が長くて体を使わないと起こりやすいと言われていています。起立性低血圧も、横になる時間が長いと心機能が低下してしまい起き上がった途端に脳の中にあつた血液が急激に下がってしまうことが原因で起こります。

### ●まずは日常生活の中でできることを少しずつ実践することから

まずはベッドで腰掛けたり、椅子に座る時間を設けることにより頭の方へ血液を運ぶ心臓の力をつけることから始めましょう。また椅子から立ち上がる練習を5回程度行い、歩く力に密接に関係していると言われていた大腿四頭筋（ももの前の筋肉）やハムストリングス（ももの後ろの筋肉）、下腿三頭筋（ふくらはぎの筋肉）などの力を鍛えることが必要です。



また力をつける練習とともに行うべき運動はストレッチングです。ストレッチングとは、柔軟体操の一種として、「筋肉をゆっくり伸ばしていき、その伸ばした状態を維持する」運動です。

ポイントとしては、①反動をつけないこと（急に引き延ばすと痛みを伴います）、②呼吸を止めないこと（血圧が上がります）、③痛みのない範囲で20秒ほどその姿勢を保ちましょう。





# よろず運動療法相談所

糖尿病小委員会

## 「バランスボールを使った運動について」

最近ではスポーツ用品店などでいろいろな運動用具を見かけますが、皆さんは運動する時何か用具を使いますか？今回は、バランスボール（以下ボール）を使った運動を取り上げてみます。

ボールを使う運動は、**姿勢の矯正**や、**全身の筋力強化**、**脂肪燃焼**の効果があると言われています。ボールの形状は様々で、表面に凹凸があったり、サイズも大小各種あつたりします。実際にボールを選択する時は、表面の質感については好みで良いと思いますが、ボールのサイズは体に合った物を選ぶことをお勧めします。見分け方として、**身長が 150cm～170cm の方は「55cm」、165cm～185cm の方は「65cm」が適当**で、**ボールの上に座った時に膝が 90 度に曲がる大きさが良い**とされています。膝が曲がり過ぎる、逆に膝が伸びて座りにくい場合はボールのサイズを変えるか、中の空気量を調節する必要があります。

次に、ボールを使った体操例をご紹介します。始めは 10～20 回を 1 セットとして、1 日 1～2 セットを目安に、慣れてきたら回数を増やしてみましょう。運動を行う際は、周囲に何も無いことを確認してから始めて下さい。

### 腹筋を働かせる運動

膝を曲げる角度は自分の動かせる範囲で行い、痛みの出ない程度にします。

#### 仰向けの運動

- ① 膝下にボールを置き、ボールを前後に転がすように膝を曲げ伸ばしします。膝を曲げた時に同時に頭を上げるとより効果的です（写真 1）。
- ② ①と同じ姿勢で、両足を曲げた状態で上半身を左右にひねるように、ボールを左右に転がします。不安定な姿勢になるので、近くに掴まるものがある所をお勧めします。

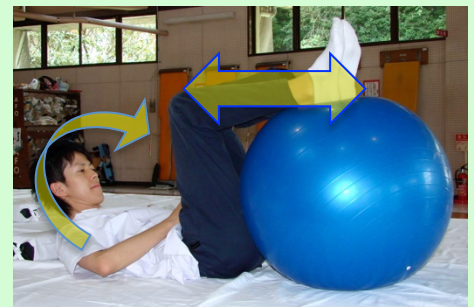


写真 1

#### 座位の運動

- ① ボールの上に座り、腰を前後左右に動かします。動かすイメージは、腰を前後に動かす場合はお腹を前に出したり背中を丸めたり、また左右に腰を振るように動きます（写真 2）。
- ② ①と同じ姿勢で、片足を上げ下ろしします。上げる高さは、膝がおへその高さにくる程度で、膝は曲げたままで行いましょう（写真 3）。

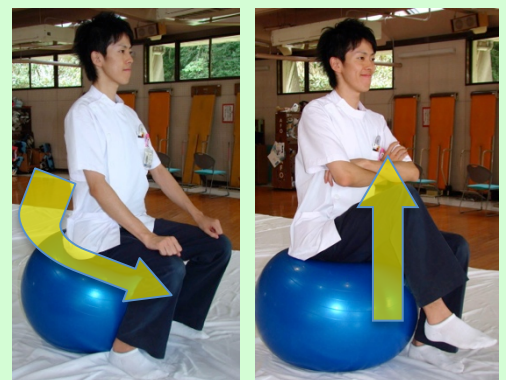


写真 2

写真 3

### 足の筋力をつける運動

#### 仰向けの運動

ボールを足元に置き壁やベッドのフレームで固定します。両足でボールを押し付けるように、伸ばしたり力を緩めたりします（写真 4）。

#### 座位の運動

ボールの上に座って、片足ずつ膝を曲げ伸ばしします。



写真 4

# 学会・研修会のお知らせ

## 第45回市民公開講座

### ベッドサイド・リハ ～廃用予防を中心に～

毎年、ご好評頂いております公開講座ですが、今回はベッドサイド・リハについての講義を、実技を交えながら行いたいと思います。廃用症候群の予防という観点から、基本動作（寝返り、起き上がり等）やトランスファーについて、患者様（利用者様）・介助者ともに苦痛が軽減する介助方法を学んでいただき、日々の業務に活かしていただければと思います。

皆様のご参加をお待ちしております。

#### 記

日 時：平成25年10月6日（日） 9:00～12:00（8:30より受付開始）

会 場：熊本総合医療リハビリテーション学院  
（〒861-8045 熊本市東区小山2-25-35）

講 師：熊本中央病院 運動器専門理学療法士 上村恭生 氏

定 員：40名

参加費：2,000円

受付期間：平成25年7月18日（木）～9月21日（土）

#### 参加申し込み

\*申し込みは全て「熊本県理学療法士協会ホームページ」より、「参加しませんか？」の、「第45回市民公開講座」から行って下さい。

\*申し込みは1名ずつ行って下さい。

## 編集後記

先日ちょっとお休みを頂いて沖縄へ行って参りました。必ず足を運ぶお気に入りの海があり、今回も時間が許す限りビーチで波の音を聴きながら泣きたくなくなるくらい綺麗な海をぼ～っと眺めてきました。日頃溜まったストレスややさぐれて澁んだ気持ちを全部浄化してくれる、私にとっては一番のパワースポットです。まっさらな自分にリセットしてくれる場所があることをとても幸せに思いつつ、また明日から頑張ろう！と気持ちも新たに現実に戻るのであります。ええ、1人で行きましたが何か？（笑）（T.W）



公益社団法人熊本県理学療法士協会 広報誌「かくどけい」

号 数  
発行日  
発行人

第110号 通算147号

平成25年7月29日

公益社団法人熊本県理学療法士協会  
〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-35  
TEL/FAX 096-389-6463

#### STAFF

坂田 大介	岩村 泰年
江口 宏	中野 真実
緒方 美湖	紫垣 華苗
奥 蘭 彩	富永 誠
野田 智愛	渡邊 知子
松本 美香	有馬 正英
古川 晃次	中熊 麗
渡邊 大輔	南 留美子
福田 圭祐	岩見 幸省
野尻 晋一	（表紙）

# 事業予定表

8月		9月		10月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	木	1	日	1	火
2	金	2	月	2	水
3	土	3	火	3	木
4	日	4	水	4	金
5	月	5	木	5	土
6	火	6	金	6	日
7	水	7	土	7	月
8	木	8	日	8	火
9	金	9	月	9	水
10	土	10	火	10	木
11	日	11	水	11	金
12	月	12	木	12	土
13	火	13	金	13	日
14	水	14	土	14	月
15	木	15	日	15	火
16	金	16	月	16	水
17	土	17	火	17	木
18	日	18	水	18	金
19	月	19	木	19	土
20	火	20	金	20	日
21	水	21	土	21	月
22	木	22	日	22	火
23	金	23	月	23	水
24	土	24	火	24	木
25	日	25	水	25	金
26	月	26	木	26	土
27	火	27	金	27	日
28	水	28	土	28	月
29	木	29	日	29	火
30	金	30	月	30	水
31	土			31	木
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県北ブロック会議</li> <li>● 天草ブロック会議</li> <li>● 天草ブロックサマーレクリエーション</li> </ul>		<p>熊本市民健康フェスティバル(～9/29)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3回県南ブロック勉強会</li> </ul>		<p>歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー (10/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 八代ブロック会議</li> <li>● 天草ブロック会議</li> </ul>	

県コード

1	北海道
2	青森
3	秋田
4	岩手
5	宮城
6	山形
7	福島
8	茨城
9	栃木
10	群馬
11	埼玉
12	千葉
13	東京
14	神奈川
15	新潟
16	富山
17	石川
18	福井
19	山梨
20	長野
21	静岡
22	岐阜
23	愛知
24	三重
25	京都
26	滋賀
27	奈良
28	和歌山
29	大阪
30	兵庫
31	岡山
32	広島
33	鳥取
34	島根
35	山口
36	徳島
37	高知
38	香川
39	愛媛
40	福岡
41	長崎
42	熊本
43	大分
44	佐賀
45	宮崎
46	鹿児島
47	沖縄
48	海外

最終学歴

1	中学（旧制小学・高等小学校含む）
2	高等学校
3	専門学校
4	短期大学（旧制高等学校含む）
5	大学（学位授与機構含む）
6	大学院修士課程修了（博士課程前期）
7	大学院博士課程修了（博士後期課程）
8	高等専修学校
9	その他

学位称号

1	なし（学位または称号は有していない）
2	学士
3	修士
4	博士
5	準学士
6	専門士
7	高度専門士
8	その他

施設区分 I

A	B
1	大学病院
2	総合病院
3	一般病院
4	老人病院
5	小児施設
6	老人施設
7	教育施設
8	行政機関
9	保健所
10	その他
11	不明
	1 厚労省（含：国立病院機構）
	2 文科省（含：国立大学法人）
	3 労働者健康福祉機構
	4 旧三公社（たばこ産業・JR・NTT）
	5 都道府県
	6 市町村
	7 日赤
	8 済生会
	9 北海道社会事業協会
	10 厚生連
	11 国民健康保険団体連合会
	12 厚生年金事業振興会
	13 厚生団
	14 船員保険会
	15 健康保健組合及びその連合会
	16 共済組合及びその連合会
	17 国民健康保険組合
	18 公益法人
	19 医療法人
	20 私立学校法人
	21 会社
	22 その他の法人
	23 老人福祉施設
	24 身体障害者更生援護施設
	25 児童福祉施設
	26 知的障害者援護施設
	27 その他の社会福祉施設
	28 個人
	29 その他
	30 不明

異動届記載用資料

施設区分Ⅱ

A		B	
1	医療施設	病院	1 大学病院
			2 総合病院
			3 老人病院
			4 小児病院
			5 一般病院(上記以外) 一般病床
			6 一般病院(上記以外) 療養型病床
			7 感染症病院
			8 精神病院
			9 結核病院
			10 ハンセン病院
			11 地域支援病院
			12 その他
2	医療施設	診療所	1 有床診療所
			2 無床診療所
			3 療養型病床群
			4 その他
3	医療施設	不明	1 その他
4	医療福祉中間施設	医療福祉中間施設	1 介護老人保健施設
			2 老人訪問看護ステーション
			3 老人デイサービス
			4 老人デイケア
			5 その他
5	老人福祉施設	老人福祉施設	1 養護老人ホーム
			2 特別養護老人ホーム
			3 軽費老人ホーム
			4 老人デイサービス
			5 老人福祉センター
			6 老人短期入所施設
			7 有料老人ホーム
			8 介護付き有料老人ホーム
			9 在宅介護支援センター
			10 高齢者総合相談センター
			11 その他
6	介護保険法関連施設	介護保険法関連施設	1 地域包括支援センター
7	身体障害者福祉施設	身体障害者更生養護施設	1 肢体不自由者更生施設
			2 重度身体障害者更生養護施設
			3 重度障害者授産施設
8	身体障害者福祉施設	身体障害者療護施設	1 身体障害者療護施設
9	身体障害者福祉施設	重度身体障害者授産施設	1 重度身体障害者授産施設
10	身体障害者福祉施設	身体障害者福祉センター	1 身体障害者福祉センター A型
			2 身体障害者福祉センター B型
			3 在宅障害者デイ・サービス施設
11	身体障害者福祉施設	身体障害者更生相談所	1 身体障害者更生相談所
12	児童福祉施設	知的障害児施設	1 知的障害児施設
13	児童福祉施設	知的障害児通園施設	1 知的障害児通園施設
14	児童福祉施設	肢体不自由児施設	1 肢体不自由児施設
			2 肢体不自由児通園施設
			3 肢体不自由児療護施設
15	児童福祉施設	重症心身障害児施設	1 重症心身障害児施設
16	児童福祉施設	情緒障害児短期治療施設	1 情緒障害児短期治療施設
17	児童福祉施設	児童相談所	1 児童相談所
18	児童福祉施設	心身障害児総合通園センター	1 心身障害児総合通園センター

A		B	
19	精神障害者社会復帰施設	精神障害者生活訓練施設	1 精神障害者生活訓練施設
			2 精神障害者授産施設
			3 精神障害者地域生活支援センター
20	精神障害者社会復帰施設	精神保健福祉センター	1 精神保健福祉センター
21	精神障害者社会復帰施設	精神障害者社会復帰促進センター	1 精神障害者社会復帰促進センター
22	精神障害者社会復帰施設	精神障害者グループホーム	1 精神障害者グループホーム
23	精神障害者社会復帰施設	精神障害者小規模作業所	1 精神障害者小規模作業所
24	知的障害者福祉施設	知的障害者支援施設	1 知的障害者更生施設
			2 知的障害者授産施設
25	知的障害者福祉施設	知的障害者更生相談所	1 知的障害者更生相談所
26	障害者自立支援施設	指定障害者福祉サービス事業所	1 生活介護事業所
			2 自立訓練(機能訓練)事業所
			3 多機能型事業所
27	障害者自立支援施設	指定障害者支援事業所	1 生活介護支援事業所
			2 自立訓練(機能訓練)支援事業所
28	障害者自立支援施設	指定相談支援事業所	1 指定相談支援事業所
29	障害者自立支援施設	指定地域活動支援センター	1 指定地域活動支援センター
30	教育・研究施設	特別支援学校	1 肢体不自由児
			2 知的障害児
			3 その他
31	教育・研究施設	教育・研究施設	1 理学療法3年制専門学校教員
			2 理学療法4年制専門学校教員
			3 理学療法短期大学教員
			4 理学療法大学教員
			5 理学療法以外の大学教員
			6 研究施設
			7 その他
32	行政関係施設	行政	1 保健所
			2 市町村保健センター
			3 国
			4 都道府県
			5 市
			6 町
			7 村
			8 社会福祉協議会
			9 身体障害者福祉協議会
			10 その他
33	健康産業	健康産業	1 スポーツ関係施設
			2 フィットネス施設
34	その他	その他	1 職業センター
			2 リハ関連企業
			3 一般企業
			4 補装具作成施設
			5 訪問看護ステーション(老人訪問看護ステーション)
			6 介護サービス企業
			7 自営・開業
			8 自宅(勤務しているが自宅会員登録)
			9 休業中(会員だが休業しているもの)
			10 その他
35	不明		1 不明

# 公益社団法人 熊本県理学療法士協会 入会申込書

公益社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

私は、公益社団法人熊本県理学療法士協会へ入会致したく申し込みます。

提出日 平成 年 月 日

氏 名	印		
勤 務 先			
入会状況	<input type="checkbox"/> 新 規 入 会	免許番号	第 号
	<input type="checkbox"/> 他都道府県からの異動入会	免許番号	第 号

※ 自宅会員の場合、勤務先は「自宅」と記入ください。



公益社団法人 熊本県理学療法士協会  
休会届（新規・継続）

公益社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、以下の理由により公益社団法人熊本県理学療法士協会を休会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

休会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			
休会理由			

※ 自宅会員の場合、勤務先は「自宅」と記入ください。

# 公益社団法人 熊本県理学療法士協会 退会届

公益社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、公益社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。

# 公益社団法人 熊本県理学療法士協会 復会届

公益社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私、公益社団法人熊本県理学療法士協会を休会中のところ復会致しますのでお届けします。

提出日 平成 年 月 日

復会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 自宅会員の場合、勤務先は「自宅」と記入ください。

